# データマップエディタの操作

	4-2. 基本课作	33
	4-2-1. Datamap エディタの起動方法とエディタの構成	34
	4-2-2. データベース設定	35
	4-2-3. データマッピングとデータマッピングの解除	36
	4-2-4. マッピングされたフィールド番号をずらす	37
	4-2-5. カラムの手動追加	38
	4-2-6. 変数の追加と削除	39
	4-2-7. フォームビューア (FormViewer)	41
	4-2-8. 自動マッピング	41
	4-2-9. ファイルデータソースの使用	41
	4-3. 重複非表示	42
	4-4. 集計	45
	4-4-1. 概要	45
	4-4-2. 集計値の出力	45
	4-4-3. 総集計値の出力	46
	4-4-4. 集計データの編集	47
	4-4-5. 集計行への文字列の出力	48
	4-5. キーブレイク	49
	4-5-1. 概要	49
	4-5-2. キーブレイクによる集計を行う	54
	4-5-3. キーブレイクによる集計行をページ内に収める	56
	4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う	58
	4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う 4-5-5. キーブレイクによる改行を行う	58 59
	4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う 4-5-5. キーブレイクによる改行を行う 4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う	58 59 59
	<ul> <li>4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う</li> <li>4-5-5. キーブレイクによる改行を行う</li> <li>4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う</li> <li>4-6. 単一データ出力</li> </ul>	58 59 59 61
	<ul> <li>4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う</li> <li>4-5-5. キーブレイクによる改行を行う</li> <li>4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う</li> <li>4-6. 単一データ出力</li> <li>4-6-1. 単一データ出力</li> </ul>	58 59 59 61 61
	<ul> <li>4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う</li> <li>4-5-5. キーブレイクによる改行を行う</li> <li>4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う</li> <li>4-6. 単一データ出力</li> <li>4-6-1. 単一データ出力</li> <li>4-6-2. 総集計値の単一データ出力</li> </ul>	58 59 59 61 61 62
	<ul> <li>4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う</li> <li>4-5-5. キーブレイクによる改行を行う</li> <li>4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う</li> <li>4-6. 単一データ出力</li></ul>	58 59 61 61 62 63
5.	<ul> <li>4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う</li> <li>4-5-5. キーブレイクによる改行を行う</li> <li>4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う</li> <li>4-6. 単一データ出力</li> <li>4-6-1. 単一データ出力</li> <li>4-6-2. 総集計値の単一データ出力</li> <li>4-7. 総ページ数</li> <li>共通設定</li> </ul>	58 59 61 61 62 63 66
5.	<ul> <li>4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う</li> <li>4-5-5. キーブレイクによる改行を行う</li> <li>4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う</li> <li>4-6. 単一データ出力</li></ul>	58 59 61 62 63 66 66
5.	<ul> <li>4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う</li> <li>4-5-5. キーブレイクによる改行を行う</li> <li>4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う</li> <li>4-6. 単一データ出力</li> <li>4-6-1. 単一データ出力</li> <li>4-6-2. 総集計値の単一データ出力</li> <li>4-7. 総ページ数</li> <li>共通設定</li> <li>5-1. 変数操作</li> <li>5-1-1. 変数インポート</li> </ul>	58 59 61 62 63 66 66 66
5.	<ul> <li>4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う</li> <li>4-5-5. キーブレイクによる改行を行う</li> <li>4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う</li> <li>4-6. 単一データ出力</li> <li>4-6-1. 単一データ出力</li> <li>4-6-2. 総集計値の単一データ出力</li> <li>4-7. 総ページ数</li> <li>共通設定</li> <li>5-1. 変数操作</li> <li>5-1. 変数インポート</li> <li>5-1-2. リストアイテム削除</li> </ul>	58 59 59 61 62 63 66 66 66 66
5.	<ul> <li>4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う</li> <li>4-5-5. キーブレイクによる改行を行う</li> <li>4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う</li> <li>4-6. 単一データ出力</li> <li>4-6-1. 単一データ出力</li> <li>4-6-2. 総集計値の単一データ出力</li> <li>4-7. 総ページ数</li> <li>共通設定</li> <li>5-1. 変数インポート</li> <li>5-1-2. リストアイテム削除</li> <li>5-1-3. マッピング解除</li> </ul>	58 59 59 61 62 63 66 66 66 66 67
5.	<ul> <li>4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う</li> <li>4-5-5. キーブレイクによる改行を行う</li> <li>4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う</li> <li>4-6. 単一データ出力.</li> <li>4-6-1. 単一データ出力.</li> <li>4-6-2. 総集計値の単一データ出力.</li> <li>4-6-2. 総集計値の単一データ出力.</li> <li>4-7. 総ページ数.</li> <li>共通設定</li> <li>5-1. 変数インポート.</li> <li>5-1-2. リストアイテム削除</li> <li>5-1-3. マッピング解除.</li> <li>5-2. フォームビューア.</li> </ul>	58 59 61 62 63 66 66 66 67 67 67
5.	<ul> <li>4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う</li> <li>4-5-5. キーブレイクによる改行を行う</li> <li>4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う</li> <li>4-6. 単一データ出力</li> <li>4-6-1. 単一データ出力</li> <li>4-6-2. 総集計値の単一データ出力</li> <li>4-7. 総ページ数</li> <li>共通設定</li> <li>5-1. 変数操作</li> <li>5-1-1. 変数インポート</li> <li>5-1-2. リストアイテム削除</li> <li>5-1-3. マッピング解除</li> <li>5-2. フォームビューアの起動</li> </ul>	58 59 61 62 63 66 66 66 67 67 67
5.	<ul> <li>4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う</li> <li>4-5-5. キーブレイクによる改行を行う</li> <li>4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う</li> <li>4-6. 単一データ出力</li> <li>4-6-1. 単一データ出力</li> <li>4-6-2. 総集計値の単一データ出力</li> <li>4-7. 総ページ数</li> <li>共通設定</li> <li>5-1. 変数インポート</li> <li>5-1-1. 変数インポート</li> <li>5-1-2. リストアイテム削除</li> <li>5-1-3. マッピング解除</li> <li>5-2-1. フォームビューアの起動</li> <li>5-2-2. マッピング操作</li> </ul>	58 59 61 62 63 66 66 67 67 67 68 68
5.	<ul> <li>4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う</li> <li>4-5-5. キーブレイクによる政行を行う</li> <li>4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う</li> <li>4-6. 単一データ出力</li> <li>4-6-1. 単一データ出力</li> <li>4-6-2. 総集計値の単一データ出力</li> <li>4-7. 総ページ数</li> <li>共通設定</li> <li>5-1. 変数インポート</li> <li>5-1-2. リストアイテム削除</li> <li>5-1-3. マッピング解除</li> <li>5-2. フォームビューア</li> <li>5-2-1. フォームビューアの起動</li> <li>5-2-3. 変数インポート</li> </ul>	58 59 61 62 63 66 66 66 67 67 67 68 68 68
5.	<ul> <li>4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う</li> <li>4-5-5. キーブレイクによる改行を行う</li> <li>4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う</li> <li>4-6. 単一データ出力.</li> <li>4-6-1. 単一データ出力.</li> <li>4-6-2. 総集計値の単一データ出力.</li> <li>4-6-2. 総集計値の単一データ出力.</li> <li>4-7. 総ページ数.</li> <li>共通設定.</li> <li>5-1. 変数インポート.</li> <li>5-1-1. 変数インポート.</li> <li>5-1-3. マッピング解除.</li> <li>5-2-1. フォームビューアの起動.</li> <li>5-2-3. 変数リスト.</li> </ul>	58 59 61 62 63 66 66 66 67 67 67 68 68 68 68 68
5.	<ul> <li>4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う</li> <li>4-5-5. キーブレイクによる改行を行う</li></ul>	58 59 61 62 63 66 66 66 67 67 67 68 68 68 68 69 69
5.	<ul> <li>4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う</li> <li>4-5-5. キーブレイクによる政行を行う</li> <li>4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う</li> <li>4-6. 単一データ出力.</li> <li>4-6-1. 単一データ出力.</li> <li>4-6-2. 総集計値の単一データ出力.</li> <li>4-7. 総ページ数.</li> <li>共通設定.</li> <li>5-1. 変数操作.</li> <li>5-1-1. 変数インポート.</li> <li>5-1-2. リストアイテム削除.</li> <li>5-2. フォームビューアの起動.</li> <li>5-2-1. フォームビューアの起動.</li> <li>5-2-3. 変数インポート.</li> <li>5-3. 変数リスト.</li> <li>5-3-1. マッピング定義.</li> <li>5-3-2. 変数リスト印刷.</li> </ul>	58 59 61 62 63 66 66 67 67 67 67 67 68 68 68 68 69 69 69

### 1. CSV データマップ

### 1-1. 概要

Form エディタで定義した変数オブジェクトに CSV ファイルから取得したデータを出力する場合、CSV 用 Datamap エディタを使用して変数とデータの関連付けを行います。

データファイルとして CSV ファイルを使用する場合の特徴は以下の通りです。

■ヘッダマッピング

データファイルの先頭行から指定行数のデータを特別に扱うことができ、1ページ目のみ又は 全ページに出力をすることができます。 詳細は、「1-3. ヘッダマッピング」をご覧ください。

■自動マッピング

Form ファイルで定義した変数名を CSV ファイルのデータとして用意することで、全ての変数 を一括で自動的にマッピングすることが可能です。 詳細は、「1-4. 自動マッピング」をご覧ください。

1-2. 基本操作

CSV 用 Datamap エディタの基本操作を解説します。 なお、この章では「CSV 用 Datamap エディタ」を「Datamap エディタ」と表記します。

1-2-1. Datamap エディタの起動

Datamap エディタにてマッピングを定義する前に、データファイル(CSV ファイル)の作成, Job ファイルの作成、Form エディタでのレイアウト作成を行ってください。

Design マネージャで Job ファイルを、データファイルリストから Datamap ファイルに設定す るデータファイルをそれぞれ選択してツールボタン [データマップ編集]をクリックすると [データマップエディタの選択]ダイアログが起動します。

<u>図:データマップエディタの選択ダイアログ</u>

用するデータファ	ルの形式を選択して	(ださい。	
データファイル:	salary.csv	•	
フォームファイル:	salary.fmd		
	◎ テキスト型 ◎ CSV型 ◎ XML型 ◎ データベース型		

[データファイル]にデータファイルリストで選択したCSV ファイル名が、[フォームファイル] にはジョブ詳細画面で選択した Form ファイル(.fmd)名が表示されることを確認してください。 データファイルの形式として [CSV 型]を選択して [OK] ボタンをクリックすると、Datamap エ ディタが起動します。

### <u>図:Datamap エディタ</u>

nap13" (# >	CSV - [salary	.dmp]		/		-	1000		-		100		(CO)(C)
補助(E)	表示(文) おどう	ap(0) 5454-5(W	() AL7 (H)	1	11		1	1					
14 22 4	A ES I	2 × 4 19	9 .	1 111	216 E. (2	NO X							
AIND	7425 H	PA HU	-		A Dation of	TO THE POINT OF TH	Auto) 東市政	-					
	045311	25001	1197-975	M景 太郎 3100	8 5001	2863	276310	276380	224200	560			1501
	5100	23003	2100	7500	2100			1203		10030			
1	0A9322	等意統治部	林家グループ	林寨 次郎	1	2103	236380	236360	152200	Line	Dia.	Land	
2	10008	25008	4100	1600	3000		1503	1600		10010	5001	1001	2108
с I.	20	176	8 /ウェブ開発グル	5 ME 1220-	8	2103	817380	117300	211600				10
	228038	55003	2100	1000	3000	4003	2500	1203	1100	10038	2108	3003	7005
	22	215	10		1	1			1		1	1	11
FRAME	250030	21003	Create: (MINE 2	500	5800	3803	10038	224010	294310	1005			
SUM_TO	21	185	8	4	8			1600		4			18
SACTO	32611 236036	5000	杜石課	林家 四郎 5100	8 5100	2103	254380 48038	284380	251860	3003		31454	7008
NED	6860	10000		10008	2000			1003		12086	1		10
TT TN					1	1		-	Ť.	Ť.	1	Ť.	
XEC													-
LIAL	-	_											-
EPEND													_
OUSE		_											
XTRA													-
EP.													
ISTN													
YTY						-							
ADJUST													
ммт .	-												
					-					10.00 kg		-	10.00 Miles

Datamap エディタの画面構成は以下の通りです。

①ツールメニュー

Datamap エディタの各種設定を行うことができます。

②ツールボタン

ツールメニューで頻繁に使用される機能を使用することが可能です。

③パラメータバー

変数名リストで選択されている変数のマッピング情報を表示します。

④変数リスト

Form エディタで定義した変数オブジェクトの変数名が表示されます。

**⑤マッピングウィンドウ** 

データファイルリストで選択したファイルの内容が表示されます。白色で表示されている領域 のみマッピング操作を行うことができます。 1-2-2. マッピング

マッピングとは、Form ファイルで定義した変数に表示するデータの取得位置を定義する操作です。マッピングの基本的な操作方法を解説します。

#### マッピングを定義する

- 1. 変数リストからデータと結びつける変数をクリックして選択します。
- マッピングウィンドウ上で目的のデータをドラッグします。パラメータバーには選択した
   [行]と[項目番号]が自動で設定されます。
- 一時的なマッピング領域が赤い線で表示されますので、マッピング領域が正しいことを確認してください。
- 正しければマウスの左ボタンをクリックします。(正しくなければマウスの右ボタンをク リックして、一時的なマッピング領域をキャンセルします。)

※左クリックでマッピングを確定すると、変数リストは自動的に次の変数に移動します。





#### マッピング領域を確認する

変数に定義したマッピング領域を確認するには変数リストから目的の変数をクリックします。 マッピングウィンドウ上で赤く囲まれた範囲が変数に設定されたマッピング領域です。

#### マッピングを解除する

設定したマッピング領域を取り消したい場合には、変数リストで変数を選択し(複数選択可)、 Datamap エディタのメニュー[編集]-[マッピング解除]をクリックします。

#### 複数の変数を同時にマッピングする

複数の変数を同時にマッピングしたいときは、変数リストで変数を複数選択し、マッピング操 作を行います。

#### 複数変数のマッピング領域を一括で変更する

複数の変数のマッピング領域を一括で変更することができます。変数リストから、マッピング 領域を変更したい変数を全て選択し、Datamap エディタのメニュー[編集]-[マッピング領域 の変更]をクリックします。[マッピング領域の変更]ダイアログでマッピング領域の移動や マッピング領域のサイズ変更が可能です。 図:マッピング領域の変更ダイアログ

	りマッヒング制	域を変更します。
在の位置からの移	動量を入力	してください。
移動量		
行:	0	
項目:	0	
見在の領域の変更量 変更量	を入力して	ください。
見在の領域の変更量 変更量 行数:	きたわして 0	<teti.< td=""></teti.<>

### マッピング領域の移動

マッピング領域の位置を移動したい場合には、[マッピング領域の変更]ダイアログで[移動 量]の[行]と[項目]に移動量を入力し[OK]をクリックしてください。 2つの変数に対して[項目]を1に設定した場合は次の図のように、マッピング領域が右に1

項目ずれます。

図:マッピング領域の移動



### マッピング領域のサイズ変更

マッピング領域のサイズを変更したい場合には、[マッピング領域の変更]ダイアログで[変 更量]の[行数]と[項目数]に変更量を入力し[OK]ボタンをクリックしてください。 2つの変数に対して[行数]を1に設定した場合は次の図のように、マッピング領域が下に1 行分広がります。

図:マッピング領域のサイズ変更



### 1-2-3. 変数操作

変数インポート

Datamap ファイルを新規作成する場合には、作成時に Form ファイルを指定することで自動的 に定義された変数が取り込まれます。しかし、既に作成された Datamap ファイルに対して、 Form ファイルで新たに定義した変数を取り込むには、変数のインポート作業が必要です。 変数インポートの詳細は、「5-1. 変数操作」をご覧ください。

#### 変数名の編集

ー度データマップを編集した後、Form エディタで変数名を修正した場合、「5-1-1. 変数インポート」で設定変更した変数をインポートしてマッピングしなおしてください。この時、変数名 変更前の変数をあらかじめ変数リストから削除しておきます。変数の削除については「5-1-2. リストアイテム削除」をご覧ください。

#### 変数の並び替え

作成済みの Datamap ファイルを修正する場合、定義されている変数が多いと変数リストから目 的の変数を見つけることが難しい場合があります。このような場合には、変数リストに表示さ れている変数を並び替えます。

変数の並び替えは Datamap エディタのメニュー [表示]-[変数の整列] でパラメータバーに表示された変数の定義内容別(変数名順、種別順、属性順)に行うことができます。変数リストのタイトルをクリックしても同様の結果になります。例えば、変数名順に並び替えたいならば、変数リストの ″変数名 ″タイトルをクリックしてください。

### 未定義のデータを保存する

Datamap ファイルの保存時にマッピングされていない変数がある場合、[未定義変数の保存] ダイアログが表示されます。

[未定義変数を保存する]を選択して [OK] ボタンをクリックすると、未定義のまま変数を保存します。未定義の変数を保存した場合、次回作業時に未定義の変数を再編集することができます。また、[未定義変数を破棄する]を選択して [OK] ボタンをクリックすると、未定義の 変数は削除され、次回作業時には変数リストに表示されません。

なお、表オブジェクトは未定義の変数として保存することはできません。

図:未定義変数の保存ダイアログ



### 1-2-4. フォームビューア

Datamap エディタのメニュー [オプション]-[フォームビューア]をクリックすると、フォームビューアが起動します。フォームビューアには、[データマップ設定]で指定されたFormファイル(フォーム名)のオブジェクトがプレビュー表示されます。

これらのオブジェクトを選択することで、変数及びマッピング領域を確認することができます。 また、変数リストにない変数(オブジェクト)が存在する場合、フォームビューア上のオブジェ クトをダブルクリックすることでインポートすることができます。

※フォームビューアの詳細は、「5-2. フォームビューア」をご覧ください。

1-2-5. 改ページ設定

データファイルとして CSV ファイルを使用する場合、データの行数で改ページを行ったり、改 ページ文字を指定して改ページを行うことができます。 ※改ページの詳細は、Design マネージャのメニュー [ヘルプ]-[オンラインマニュアル]か

。 ら「3. 機能リファレンス」-「3.5 改ページとフォームの切り替え」-「改ページ」をご覧く ださい。 1-2-6. 集計値設定

テキスト変数でマッピングした領域のデータを集計して帳票上に出力することができます。 ※集計値設定の詳細は、Designマネージャのメニュー[ヘルプ]-[オンラインマニュアル] から「3. 機能リファレンス」-「3.4 集計値の表示とデータ編集」-「テキスト変数の集計値 出力」をご覧ください。

1-2-7. 表オブジェクトの詳細マッピング

表オブジェクトのマッピングの詳細は、Design マネージャのメニュー [ ヘルプ ]-[ オンライ ンマニュアル ] から「3. 機能リファレンス」-「3.3 フォームオブジェクト」-「表オブジェ クト ( 表組 )」をご覧ください。

1-3. ヘッダマッピング

データファイルの先頭行から指定行数のデータを特別に扱うことのできる機能です。 データの先頭行から行数を指定してヘッダマッピングを行えば、そのヘッダマッピングを行っ た結果を 1ページ目のみ又は全ページに出力することができます。

1. ヘッダ領域設定

CSV ファイルのヘッダとして扱う領域を設定します。 Datamap エディタのメニュー[ファイル]-[データマップ設定]をクリックし、[データマッ プ設定]ダイアログを起動します。[データマップ]タブの[モード]で[CSV]が選択されて いることを確認してください。[ヘッダマッピングを行う]にチェックを入れ、[ヘッダ行数] を入力します。[ヘッダ行数]には、CSV ファイルの先頭からヘッダとして扱う行数を設定し てください。

図:データマップ設定ダイアログ

データフッフ ファイル名(N):	salary	
記述(D):	: 給与支給明細書	
^ッタႨ 設定ファイル(U)	(TAX(K): 4 🚖	
	Carlos And	参82(F)
フォームファイル名:	salary.tmd	Service 1

[データマップ設定]ダイアログを[OK]ボタンで閉じると、Datamap エディタのマッピングウィ ンドウで、先頭から[データマップ設定]ダイアログで設定した[ヘッダ行数]分がグレーで 表示され、マッピングができなくなります。 この状態では、ページごとに異なるデータ(本体と呼びます)をマッピングすることができます。

図:Datamap エディタ - 本体領域

	a 🖪 🖬	å×¥ ₪	1 ·		15 E D	11								
ADDRESS1	権的((T)	第1世(Z) (1903) 室	1209	CO (1988(7) 1	#日前100 ~月	72573100000 X	(2)(5) (2)(2) (2)(5)	19090 *						
RBS D ADVANCE	- 8A3311 200800 5006 27	フリューション 25000 2000 100	の「ッケージラC 3004 5	D構築 大部 3000 7500 3	1000	2003 10000 8	275000	276000 1388 8	224238	1000			2500	1
D EX_DORMET	0.43322 195300 10000 20	4/9/4/31/9 10000 25000 175	NUE ジルージ Albit 1	NEW SEW	1140	1983	258588 3000 3500	238388 2888 1588 8	152200	2000 10000	5000 5000 0	1000	2200 2100 38	
DINS_DAMAGE	840321 220088 8008 22	55000 20000 215	/ウェブ開発グ/ 2900 2001	1000 1000	8 2000 1000	2003 4000 N000	817900 2500 2900 8	317500 1300 1888 8	211600	10000	2100	2000	7000 3000	
D SECURITIES D DELOTHERS	844121 250000 8008	Create MEMO	Crests!開発分	NEN 2.81	1000	2003	254000	254000	244500	1000				
DEDU_STTL	Bridin .	117225	11 7218	NE CH	1	2003	254000	234000	251000	1	1	T.	10	

2. ヘッダ領域のマッピング

全てのページで共通して使用するデータ(ヘッダ)をマッピングするには、Datamap エディタのツールバーで[ヘッダ]を選択してください。

[本体]が選択されていた時とは逆に、先頭から[データマップ設定]ダイアログで設定した [ヘッダ行数]分の領域がマッピング可能となります。

<u>図:Datamap エディタ - ヘッダ領域</u>

Detemapor	CSV - [salary	dmp]	-										OB	13
7744(E) 構業(E)	##C() #7">	1)( <u>0)</u> +0+**( <u>4</u> )	0 *A7*(H)	_			_				-	_		_
	a 12 12 1	SXX BI	B 1 .	·	14 2 5	1								
ADDRESS1	1801D R	1100 HOU	1000	COMPLEX CO	aline .	小法力18000101 金ページ ・	110 1113 Air	• •						
東部名 D ADVANCE	- BA33111 200800 5006	200 x = 2/m2 2000 2000	ル「ッケージ <del>」</del> 3000	D構築 大樹 1000 7100	8 5000 2000	2003	275000	276000	224210	500 10000			2584	ň
DWLFR_FEE DEX_DORHET	543322 195800	10000 10000	はヨラルーラ	MW 350	1000	540	218308	2000	182230	2000.	5000	1006	2200	
D ACCMUTH D INS_DAMAGE	20 00321	175 20a-2a2 55000	1 ウェブ開発グル 2000	S 13142	-	0 2001 4000	117908 2500	8 817940 1300	211608 1100	10000	2100	2001	30	1
D INS_LIFE D SECURITIES	22 8A4121 250000	215 Create MEMOR	10 Creste!期间引	1 IN 1	1 1000	2001	8 254686 10000	254000	24650	8	1	1777	11	
D DEDU_STTL	21	20000 185 84 62/05	5005 6 16 F219	1000	1			1500 8 734000		1000		*		

### 3. 出力範囲の指定

ヘッダマッピングしたデータを全ページに出力するか、1ページ目のみに出力するかはツール バーの[ヘッダ出力範囲]で設定します。

[ヘッダ出力範囲]を[1ページ]と指定すれば、最初のページにだけデータが出力されます。 また、[全ページ]を指定すれば、全てのページにヘッダが出力されます。

1-4. 自動マッピング

通常のマッピング作業では変数1つ1つに対してマッピング領域を設定していきますが、Form ファイルで定義した変数名を CSV ファイルのデータとして用意することで、全ての変数を一括 で自動的にマッピングすることができます。

1. CSV データファイルの準備

CSV用 Datamap エディタの自動マッピング機能は、変数名と同じ CSV のデータを自動でマッピングします。まずは、変数名をマッピングする位置に配置した CSV データファイルを作成してください。

2. 自動マッピング

「1. CSV データファイルの準備」で作成した CSV ファイルを指定して Datamap ファイルを作成 します。マッピングウィンドウに、「1. CSV データファイルの準備」で作成した CSV ファイル のデータが表示されることを確認してください。

図: Datamap エディタ - 変数名とデータ

🐻 Datamapı7*19 -	CSV - [ca	r.dmp]		4	and the second	OA	1. 7
771W(E) 編集(E)	表示(⊻) ;	t7° ション( <u>O</u> )	742F*9( <u>W</u>	<u>/)</u> ND°( <u>H</u>	<u>+</u> )		
	5 d 6	🛛 📩 🗙 🕽	K I 💷	🗊 (9	<b>▼</b> ] [本	(本 - )	ΕΣ
変数名(V)	種別(T)	届性(Z)	行(L)	項目	目番号(I) 行费	女(P) 項	〔目数(N)
SONOTA	テキスト				-	<b>2</b>	A
変数名	自動車保	険申込 雷氏書	<b>t</b> 是	(注所 (力	ナン(主所		氏名 (力-
ABS	[ADDRESS1	TELEP	HONE	ADDRESS2	KANA ADDRE	SS2_1	NAME1_KAN
ADDRESS1	160-0023	03-33	60-6631	トリキョリトソノ	21179_東京社	師新宿区西	1799Ca9 17
TELEPHONE				5			
ADDRESS2_K.							
ADDRESS2_1							
D NAME1_KANA				-	X		1
D NAME1_1							

Datamap エディタのメニュー [オプション]-[自動マッピング]をクリックし、[自動マッピング]ダイアログを起動します。

<u>図:自動マッピングダイアログ</u>

マルシケ位置補正	マッピックドテ数
0 ÷ 17	1 🚔 行
0 💠 🔊 I	

[マッピング行数]に「1」と入力された状態で[OK]ボタンをクリックしてください。 変数名と同じデータ位置に自動でマッピングされます。 ※変数名と同じデータが存在しない場合にはマッピングされません。

図:Datamap エディタ - 変数名の位置に自動マッピング

Datamap17*19	- (	CSV - [car	.dmp]							
7711(E) 編集(E)	đ	長示(⊻) オ	7° 332((	<u>2)</u> 912	F* 9(W	<u>()</u> NH	<sup>2°</sup> ( <u>日</u> )			
1 🖬 🖬 🖬 😭	6	3 🖪 🖾	Ø.	×ж		9		· 本体	- 1	Σ 🔝
変数名(V)	1	重另以(T)	属性(Z	:)	行(L)		項目番号	(I) 行数(P)	) 項目	目数(N) へッ
ADDRESS1		テキスト			3	×	1	<del>\$</del> 1	<b>2</b> 1	A
変数名	*	自動車保	険申込	<b>李</b> 託業号		往朝	( <del>1</del> +)	(主形	F	チタ (カナ)
ABS		ADDRESS1 160-0023	ĺ	TELEPHON 13-3360-	E 6691	ADDRE 194a9	SS2_KANA	ADDRESS2 東京都新	_1 Ñ 宿区西升	AME1_KANA a Ota O (FD)
E TELEPHONE	E									
ADDRESS2_K			_							
B ADDRESS2_1						-				
B NAME1_KANA	4		_							
B NAME1_1		-								

なお、[マッピング行数]に2と設定した場合には、変数名と同じデータ位置から2行分マッピングされます。

図:Datamap エディタ - 変数名の位置から2行分自動マッピング

👩 Datamap17*११	- (	CSV - [car	.dmp	]							
771W(E) 編集(E)	-	表示(⊻) オ	17° yay	( <u>0</u> ) 개ン	۲° ۶ <u>(W</u>	) NH	가 (且)				
1 🖬 📽 🖬 😭	6	5 a 🖾	1	XX		<b>III</b> 9		·   本体	-	B	Σ 🗟
変数名(V)	3	種別(T)	属性	(Z)	行(L)		項目番号	(I) 行数(P	) 項	便目数	(N) /\y
ADDRESS1		テキスト			3	×	1	<del>\$</del> 2	÷ 1		A
変数名	*	自動車保	険申込	<b>季</b> 託兼号	_	住所	(++)	(主面)		正之	(h+)
B ABS		ADDRESS1		TELEPHON	E	ADDRE	SS2_KANA	ADDRESS2	<u>।</u> क्रांज म	NAME	KANA
ADDRESS1		160-0023		00-0000-	0031	17717	1979 177	二果、小白和	161215	1/11/01	17 174
<b>TELEPHONE</b>	Ε	-									
ADDRESS2_K										-	
ADDRESS2_1											
B NAME1_KANA								<u></u>			
B NAME1_1											

また、変数名の1つ下のデータをマッピングする場合には、[マッピング位置補正]にチェックを入れ、[行]を「1」に設定してください。

図:Datamap エディタ - 変数名の1行下に自動マッピング

Datamap17*49	- (	CSV - [car	.dmp	]						
771W(E) 編集(E)	1	長示(⊻) オ	לפל <sup>מ</sup> ר	( <u>O</u> ) 거기	1 9(W	<u>()</u> NV? ( <u>H</u>	1)			
🖹 🖬 📽	€	) 🖪 🖾	Ø	ХЖ		9	▼] 本	体 🚽	Ε	1
変数名(V)	1	重別(T)	属性	(Z)	行(L)	項目	番号(1) 行费	女(P) 🤈	頁目數(N)	1 1.17
ADDRESS1		テキスト			4	<b>1</b>	÷ 1		1	
変数名 同 ABS	-	自動車保 郵便番号 ADDRESS1	険申ジ	電話番号 TELEPHON	E	(主所 (力: ADDRESS2	ナ) KANA_ADDRE	SS2_1	氏名() NAME1_k	カナ) (ANA
ADDRESS1		160-0023		03-3360-	6691	トウキョウトシン	ドュククニ東京者	師新宿区	国チョウヒョウ	伊田
<b>B</b> TELEPHONE	Ξ	-					8			
ADDRESS2_K.										
ADDRESS2_1										
B NAME1_KANA		-		-			2			
B NAME1_1										

[マッピング位置補正]の[行]と[列]を設定することで、マッピング位置を調節すること ができます。

### 2. TXT データマップ

### 2-1. 概要

Form エディタで定義した変数オブジェクトに Text ファイルから取得したデータを出力する場合、Text 用 Datamap エディタを使用して変数とデータの関連付けを行います。

データファイルとして Text ファイルを使用する場合の特徴は以下の通りです。

■行分割マッピング 1行のデータを指定された長さで分割し、折り返して出力する行分割マッピング機能を使用す ることができます。 ※行分割マッピングの詳細は、「2-3. 行分割マッピング」をご覧ください。

### 2-2. 基本操作

Text 用 Datamap エディタの基本操作を解説します。 なお、この章では「Text 用 Datamap エディタ」を「Datamap エディタ」と表記します。

2-2-1. Datamap エディタの起動

Datamap エディタにてマッピングを定義する前に、データファイル (Text ファイル)の作成, Job ファイルの作成、Form エディタでのレイアウト作成を行ってください。 Design マネージャで Job ファイルを、データファイルリストから Datamap ファイルに設定す るデータファイルをそれぞれ選択してツールボタン [データマップ編集]をクリックすると [データマップエディタの選択]ダイアログが起動します。

#### <u>図:データマップエディタの選択ダイアログ</u>



[データファイル]にデータファイルリストで選択した Text ファイル名が、[フォームファイ ル]にはジョブユニットリストで選択した Form ファイル (.fmd)名が表示されることを確認 してください。データファイルの形式として [テキスト型]を選択して [OK] ボタンをクリッ クすると、Datamap エディタが起動します。

### 図:Datamap エディタ

DatamapIF* (7 -	atr - [lut_	text.dmp]	1		/				
14(E) 補其(E) 5	表示(1/) #7	'∻≉>(Q) 94>**9(W	) A#7"(H)		8	. /			
C	AB	函×X 回	朝 (9)	-11 ## -1 %	2 国 副 2		-		
8:6(V) 1 /TO_PAGE080	重S1(T) ヘージ	期性(2) (元(L)	fit(C)	(行動(ド) 長さ	(N) (N) (N) (N)	(5) 重推興示(90			
88	AID-46E02	研算 一時 大进 信章	(2月)	PLANING WRITER	19/1/04/01	1351/10/82	115-6027 159-6021	東京都江東区上約2-3-40 東京都江戸川区松木5-12-77	1 11
AUTO_INGE000	1048005	小山 金田	12月	MANTER OF	1971/04/01 1971/08/01	1351/08/17 1352/11/01	153-0049 164-0075	東京都律由谷区相下水5-28-12 東京都會長区短481-6-34	01
ID	1048011	教授 第	· 12月	11812	1971/12/10	1952/62/28	145-0087	東京整理県区岩沖井金5-12-25	
NAME	1047804	12 13	人事	24	1972/04/01	1952/12/21	114-0032	東京都市地区「武士」13-10	03
DEPARTMENT	1048801		第133351	55	1975/04/01	1953/12/24	146-5025	東京都遵泛黄金台1-17-33	45
FIRST DATE	1043806	三石 英雄	1123/170		1873/05/01	1354/04/30	182-8083	東京都千代田区街川場5-31-43	01
DATE OF BIR.	1043803	松井 西江	世間	<b>S</b> RE	1971/11/20	1854/10/12	180-6077	重京都支市区小石山2-18-77	1
TIP_CODE	A1043802 A1043803	帝曆 伊代 佐藤 量	公平	副部長	1874/04/01 1874/04/01	1854/10/25 1854/08/23	150-6018 183-6086	東京都新聞区割町3-12-58 東京都大田区満田7-23-88	01
ADDRESS	1050804	佐々木 高理奈 標準 利明	第13335	新聞表 新聞表	1975/04/01 1983/05/09	1955/12/11 1861/11/02	168-2042 171-2031	東京都搬田区吾袭山か5-53 東京都村並区阿佐谷吉和-17-11	01
PHONE_NUMB	A1051011 A1051012	今百光晴 高末力	器	新設長	1982/05/28 1985/05/02	1361/05/02 1362/08/07	186-8051 128-8025	東京都中野区親井4-4-15 東京都定立区竹田1-25-35	01
	1052003	酒庫 由美 冻壊 まりや		NA	1887/05/02 1988/05/28	1962/12/01	138-0088	重京都売川区町村2-32-21 重京都市由区日島1-12-50	
	A1052012	橋本 美宿	超增 第19788	121	1985/05/28	1962/07/18	199-2088	軍京都島川区中非8-6-68 軍京都計車区目売ま第7-8-7	05
	0.1852017	荒牧 久美子	A.2.3335	17.5	1998/05/27	1363/04/20	122-8031	東京都武前野市西ヶ保1-31-18	03
	1053601	五十唐 克也	44	11	1930/05/02	1363/08/01	163-6031	東京都多摩市1-11-60	01
	A1863804	古川 發調	100H	185	1838/05/12	1164/02/05	162-5021	東京都由工市7-3-48	
	A1053807	東田 サ日十 現山 良活	世際		1891/05/30	1964/10/21	161-0088	東京都八王子市小和田町3-16-40	
	A1053010 A1053011	情本 モー郎 山田 良美	程理 第23336	122	1891/05/14 1892/05/05	1964/06/09 1965/01/11	187-0089 141-0074	東京都福生市南田園4-26-12 東京都政範村里市5-23-81	01
	1053013	稿本 一部 宮崎 慎吾	第1935% 管理	課業	1992/05/14 1992/05/18	1971/10/05 1971/00/20	122-5046 120-5068	東京都約中市2-25-22 東京都保谷市3-21-5	01
	1054005	- 64 52 - 64 7225	第23356	課長 課長3年66	1990/05/19 1991/05/28	1971/03/17 1972/12/21	119-0066	東京都調布市7-12-15 東京都国立市車5-2-42	
	1054010	寿田 明紀	第2933	建基地体	1992/05/02	1972/02/29	180-8031	東京都和川市谷山1600	
1	-							現在位置 < 行:10 行:43 >	<b>京</b> 教紀数:10

Datamap エディタの画面構成は以下の通りです。

**①ツールメニュー** 

Datamap エディタの各種設定を行うことができます。

②ツールボタン

ツールメニューで頻繁に使用される機能を使用することが可能です。

③パラメータバー

変数リストで選択されている変数の属性やマッピング情報を表示します。

### ④変数リスト

Form エディタで定義した変数オブジェクトの変数名が表示されます。

**⑤マッピングウィンドウ** 

データファイルリストで選択したファイルの内容が表示されます。白色で表示されている領域 のみマッピング操作を行うことができます。 2-2-2. マッピング

マッピングとは、Formファイルで定義した変数に表示するデータの取得位置を定義する操作です。マッピングの基本的な操作方法を解説します。

#### マッピングを定義する

1. 変数リストからデータと結びつける変数をクリックして選択します。

- マッピングウィンドウ上で目的のデータをドラッグします。パラメータバーには選択した [行]、[桁]、[行数]、[長さ]が自動で設定されます。
- 一時的なマッピング領域が赤い線で表示されますので、マッピング領域が正しいことを確認してください。
- 正しければマウスの左ボタンをクリックします。(正しくなければマウスの右ボタンをク リックして、一時的なマッピング領域をキャンセルします。)

※左クリックでマッピングを確定すると、変数リストは自動的に次の変数に移動します。

#### <u>図:マッピング操作</u>



### マッピング領域を確認する

変数に定義したマッピング領域を確認するには変数リストから目的の変数をクリックします。 マッピングウィンドウ上で赤く囲まれた範囲が変数に設定されたマッピング領域です。

#### マッピングを解除する

設定したマッピング領域を取り消したい場合には、変数リストで変数を選択し(複数選択可)、 メニュー[編集]-[マッピング解除]をクリックします。

#### 複数の変数を同時にマッピングする

複数の変数を同時にマッピングしたいときは、変数リストで変数を複数選択し、マッピング操 作を行います。

### 複数変数のマッピング領域を一括で変更する

複数の変数のマッピング領域を一括で変更することができます。変数リストから、マッピング 領域を変更したい変数を全て選択し、[編集]メニューの[マッピング領域の変更]をクリッ クします。[マッピング領域の変更]ダイアログでマッピング領域の移動やマッピング領域の サイズ変更が可能です。 図:マッピング領域の変更ダイアログ

現在の位置からの移	師量を入け	っしてください。
移動量		
行:	0	*
桁:	0	
変更量	277700	
行数:	0	A V
	0	

マッピング領域の移動

マッピング領域の位置を移動したい場合には、[マッピング領域の変更]ダイアログで[移動 量]の[行]と[項目]に移動量を入力し[OK]をクリックしてください。

2つの変数に対して[行]を1に設定した場合は次の図のように、マッピング領域が下に1行 ずれます。

図:マッピング領域の移動



マッピング領域のサイズ変更

マッピング領域のサイズを変更したい場合には、[マッピング領域の変更]ダイアログで[変 更量]の[行数]と[項目数]に変更量を入力し[OK]をクリックしてください。 2つの変数に対して[行数]を1に設定した場合は次の図のように、マッピング領域が下に1 行分広がります。

図:マッピング領域のサイズ変更



### 2-2-3. 変数操作

変数インポート

Datamap ファイルを新規作成する場合には、作成時にForm ファイルを指定することで自動的 に定義された変数が取り込まれます。しかし、既に作成された Datamap ファイルに対して、 Form ファイルで新たに定義した変数を取り込むには、変数のインポート作業が必要です。 変数インポートの詳細は、「5-1. 変数操作」をご覧ください。

#### 変数名の編集

ー度データマップを編集した後、Form エディタで変数名を修正した場合、「5-1-1. 変数インポート」で設定変更した変数をインポートしてマッピングしなおしてください。この時、変数名 変更前の変数をあらかじめ変数リストから削除しておきます。変数の削除については「5-1-2. リストアイテム削除」をご覧ください。

#### 変数の並び替え

作成済みの Datamap ファイルを修正する場合、定義されている変数が多いと変数リストから目 的の変数を見つけることが難しい場合があります。このような場合には、変数リストに表示さ れている変数を並び替えます。

変数の並び替えはメニュー[表示]-[変数の整列]でパラメータバーに表示された変数の定義 内容別(変数名順、種別順、属性順)に行うことができます。変数リストのタイトルをクリッ クしても同様の結果になります。例えば、変数名順に並び替えたい場合は、変数リストの ″変 数名 ″タイトルをクリックしてください。

### 未定義のデータを保存する

Datamap ファイルの保存時にマッピング定義されていない変数がある場合、[未定義変数の保存]ダイアログが表示されます。

[未定義変数を保存する]を選択して [OK] ボタンをクリックすると、未定義のまま変数を保存します。未定義の変数を保存した場合、次回作業時に未定義の変数を再編集することができます。また、[未定義変数を破棄する]を選択して [OK] ボタンをクリックすると、未定義の 変数は削除され、次回作業時には変数リストに表示されません。

なお、表オブジェクトは未定義の変数として保存することはできません。

図:未定義変数の保存ダイアログ



#### 2-2-4. フォームビューア

[オプション]メニューから[フォームビューア]をクリックすると、フォームビューアが起動します。フォームビューアには、[データッマップ設定]で指定されたFormファイル(フォーム名)のオブジェクトがプレビュー表示されます。

これらのオブジェクトを選択することで、変数及びマッピング領域を確認することができます。 また、変数リストにない変数(オブジェクト)が存在する場合、フォームビューア上のオブジェ クトをダブルクリックすることでインポートすることができます。

※フォームビューアの詳細は、「5-2. フォームビューア」をご覧ください。

2-2-5. 改ページ設定

データファイルとして Text ファイルを使用する場合、データの行数で改ページを行ったり、 改ページ文字を指定して改ページを行うことができます。 ※改ページの詳細は、Design マネージャのメニュー [ヘルプ]-[オンラインマニュアル]か ら「3. 機能リファレンス」-「3.5 改ページとフォームの切り替え」-「改ページ」をご覧く ださい。

2-2-6. 集計值設定

テキスト変数でマッピングした領域のデータを集計して帳票上に出力することができます。 ※集計値設定の詳細は、Designマネージャのメニュー[ヘルプ]-[オンラインマニュアル] から「3. 機能リファレンス」-「3.4 集計値の表示とデータ編集」-「テキスト変数の集計値 出力」をご覧ください。

2-3. 行分割マッピング

行分割マッピングとは、1行のデータを指定された長さで分割し、折り返して出力する機能で す。この機能は、Datamap ファイルに設定したデータファイルの形式が "テキスト型"の場合 のみ使用することができます。

例えば、"1234567890ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ"というデータを、出力時に10バイトで折り返すと、出力結果は次のようになります。

<u>例:1行のデータを10バイトで折り返す</u> 1234567890ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ → 1234567890 ABCDEFGHIJ KLMNOPQRST UVWXY7

行分割マッピングを行うには、マッピング情報の[長さ]に折り返す長さを設定し、[回数] に折り返す回数を設定します。上記の例では[長さ]を「10」、[回数]を「4」と定義するこ とで出力可能です。この場合、最大40バイトのデータを出力することができます。 ※マッピングウィンドウ上では、[長さ]で設定された領域のみがマッピング領域として描画 されます。

図:Datamap エディタ - 行分割設定

Datamap17°19	- 7#XN - [tes	t_txt.dmp]							-
ファイル( <u>E</u> ) 編集( <u>E</u> )	表示(⊻) オ	יי ( <u>O)</u>	?イント* ?( <u>W</u> )	N1⁄2°( <u>H</u> )					
🖹 🗳 🖬 🗳	🖨 🖪 🖾	🗟 🗙 🕽	K 💷 🆽	9	• 本体	· •	ΙΠΣ		1 8
変数名(∀)	種別(T)	属性(Z)	行(L)	桁(C)	行数	(P)	長さ(N)	回数(S	) 集計((
TEXT000	777	行分割	1	<b>1</b>	<b>1</b>	1	10	€ 4	*
変数名	12345678	0 ABCDEFGHI	JKLMNoPQRST	UVWXYZ			1		
B TEXT000						1			
1						-	1		
						1	1		

また、[長さ]を「10」、[回数]を「2」と設定すると、次の例のように 20 バイトまでデータ が出力され、それ以降のデータは出力されません。

<u>例:1行のデータを10バイトで2回折り返す</u> 1234567890ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ → 1234567890 ABCDEFGHIJ

### 3. XML データマップ

### 3-1. 概要

Create!Form では XML データを使用したデータマッピングに対応しています。 XML データは要素として XML データ内に存在しているため、通常のテキストや CSV といったデー タファイルとのデータマッピングとは操作が異なります。XML データを使用してデータマッピ ングを行う際は、XML 用 Datamap エディタを使用します。XML 用 Datamap エディタはフォーム に含まれる変数と XML データの要素をマッピングします。また、他にも XML データの要素をキー とした改ページの設定や、ユニット切り替えの設定、動的オブジェクトの設定などがあります。

XML データとデータマッピングをする場合の特徴は以下の通りです。

#### ■マッピング操作モード

XML データの各要素は XML ツリーとして表示されます。この XML ツリーに対してデータマッ ピングや改ページ設定、XML ツリーの操作などを行います。これらの操作に応じて XML 用 Datamap エディタでは、マッピング操作モードを切り替えて操作します。 詳細は、「3-2-2. マッピング操作モードの切り替え」をご覧ください。

#### ■自動マッピング

Form ファイルで定義した変数名を XML データの要素として用意することで、全ての変数を一括で自動的にマッピングすることが可能です。 詳細は、「3-2-8. 自動マッピング」をご覧ください。

■ヘッダマッピング

データソースの特定の部分を特殊に扱い、出力ジョブを通してその特定部分の XML データを1 ページ目のみまたは全ページに出力する機能です。 詳細は、「3-4. ヘッダマッピング」をご覧ください。

### 3-2. 基本操作

XML 用 Datamap エディタの基本操作を説明します。 なお、この章の以降は「XML 用 Datamap エディタ」を「Datamap エディタ」と表記します。

基本操作では以下の内容についてそれぞれ説明します。

- ・Datamap エディタの起動方法とエディタの構成
- ・マッピング操作モードの切り替え
- ・データマッピングとデータマッピングの解除
- 変数の追加
- ・未定義変数とツリーアイテムの保存
- ・フォームビューア
- ・ドキュメントビューア
- ・自動マッピング

3-2-1. Datamap エディタの起動方法とエディタの構成

### Datamap エディタの起動

Datamap エディタにてデータマッピング定義する前に、データファイル (XML ファイル) の作成、 Job ファイルの作成、Form エディタでのレイアウト設計を行ってください。

Design マネージャで Job ファイルを、データファイルリストから Datamap ファイルに設定す るデータファイルをそれぞれ選択してツールボタン [データマップ編集]をクリックすると [データマップエディタの選択]ダイアログが起動します。

#### 図:データマップエディタの選択ダイアログ

में ज ⊲ र ∽ १७२ ल	(ルの形式を選択し	いたまい。
データファイル:	hokenxml	-
フォームファイル:	hoken.fmd	
	◎ テキスト型 ◎ CSV型 ◎ XML型 ◎ データベース型	

[データファイル]にデータファイルリストで選択した XML ファイル名が、[フォームファイ ル]にはジョブユニットリストで選択した Form ファイル (.fmd) 名が表示されることを確認し てください。データファイルの形式として [XML 型]を選択して [OK] ボタンをクリックすると、 Datamap エディタが起動します。

### Datamap エディタの画面構成

Datamap エディタを起動すると以下の画面が表示されます。それぞれの画面構成を説明します。

1(1)(三) 編集(三)	£->`( <u>M</u> ) ₹	■示(¥) ■ア-94	(Q) AA7*(H)					
	a a E	)	X E B 8	0 3 5 5	民民			
38.6	HESE.	anit.	7-8-50188H	#18/1-37 1-37出力 本信 + 1±パーソ	Bini Militis Mil	ān -		
2018	織制	関位	2년,727 清朝	集It 重视表示	4.65"出力範囲	S & OneToOne		
D UID	7425	右	联合委号	表示		白令 聯合情統		
CUSTOMERNA	. 743F	左	顧客氏名	表示		AF 联苏普号		
NUMPOST	7421	左	新供番号	表示		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
ADDRESS	7975	左	值所1	表示		At 211		
ADORES52	7425	左	住所2	表示		or amo		
BARPOST	1-2-1		パーコード用顧客			日田縣高校園長寺		
BALANCE	7025	右	総合口座残高	表示				
DETAILS	5'57	幕5-57	通去取引明相			日心 レート情報		
SERVICES	1*57	1-5-51-1	支出明細			田 💊 提出者		
HOKENNAME	342F	左	18851	表示				
HOKENLOAN	7975	右	金融	表示				
LOANNAME	7925	左	18.91	表示				
LOAN	7475	有	金融	表示				
PUBLIC	7471	右	公共和主	表示				
COMMENT	79.23	信し込み	JX2N	表示				
ASSETS	9"57	四7:37	養夏明細					
DEPOSITNAME	7421	左	18.81	表示				
DEPOSIT	7421	有	金師	表示				
GOLD	7921	右	#	表示				
EXCHANGE	7425	右	211	表示				
DOLL COMPANY	20.14	100	100	0.000	2		COURSE DESCRIPTION	A MARK TO A MARK TO

図: Datamap エディタ

①ツールメニュー

Datamap エディタの各種設定を行うことができます。

②ツールバー 図:ツールバー ≧ ☞ ■ ☎ ☞ 집 歐 집 ☆ × ¥ Σ ᡚ ?

ツールメニューで頻繁に使用される機能を使用することができます。

XML ツリーでの操作を切り替えることができます。

④パラメータバー

図:パラメータバー

変数名	種別	属性	マッピンク特報	本体/ヘッダ	ヘッダ出力範囲	集計(S)	重複表示
				本体	全小~->		¥.

変数リストで選択されている変数のマッピング情報を表示します。

```
⑤変数リスト
```

<u>図:変数リスト</u>

変数名	種別	属性	マッヒ。ング、情報	集計	重複表示	ヘッダ出力範囲	-
🖪 UID	7#21	右	顧客番号		表示		
B CUSTOMERNA	7+21	左	顧客氏名		表示		
B NUMPOST	テキスト	左	郵便番号		表示		
B ADDRESS	7+21	左	住所1		表示		
B ADDRESS2	7+21	左	住所2		表示		
BARPOST	л»-]-h»		バーコード用顧客				
BALANCE	7+21	右	総合口座残高		表示		
B DETAILS	<b>グ* ラフ</b>	棒0~57	過去取引明細				
B SERVICES	<u>り</u> * ラフ	1-9"-FP-1	支出明細				=
B HOKENNAME	7+21	左	種別		表示		

Form エディタで定義した変数オブジェクトの変数名やマッピング情報が表示されます。

@ XMI עע —

<u>図:XML ツリー</u>	
OneToOne	
□ ◇ 顧客情報	
● 顧客番号	
→ 😽 郵便番号	
₩ 住所2	
● ◆ レポート	
□ ◆ レート情報	
⊡	

XML データの要素がツリー表示されます。要素の表示として以下のものがあります。

 ・ヘート要素
 XML データのルートとなる要素です。
 ※ルート要素へはデータマッピングや改ページ設定を行うことはできません。

◇ 要素
 XML データの要素です。
 まだマッピングや改ページ設定が行われていない状態です。

♥▼マッピング済み要素 XML データの要素です。 変数とデータマッピングが行われている状態です。

◇→ 改ページ設定済み要素
XML データの要素です。
改ページ設定が行われている状態です。

♥↓ マッピング、改ページ設定済み要素 XML データの要素です。 変数とデータマッピングが行われ、改ページ設定が行われている状態です。

### 属性

XML データの属性です。 まだマッピングが行われていない状態です。 ※属性に対しては改ページ設定を行うことはできません。

マッピング済み属性 XML データの属性です。変数とデータマッピングが行われている状態です。 ※属性に対しては改ページ設定を行うことはできません。

3-2-2. マッピング操作モードの切り替え

Datamap エディタでは、マッピング操作モードを切り替えることで、XML ツリーでの操作を切 り替えることができます。マッピング操作モードはツールメニュー[モード]や以下の操作モー ドバーから切り替えることができます。

### 図:操作モードバー

2 2 2 2 2

[マッピングモード]

変数と XML データの要素をデータマッピングする際に選択するモードです。 Datamap エディタ起動時はこのモードに設定されています。 [改ページ設定モード]

選択した XML データの要素に対して改ページ設定を行うモードです。 ※改ページ設定についての詳細は「3-3. XML での改ページ設定について」をご覧ください。

[要素ノードの生成モード] 選択した XML データの要素の子要素としてツリービューアイテムを追加します。

[属性ノードの生成モード] 選択した XML データの要素の属性としてツリービューアイテムを追加します。

[編集モード] 選択した XML データの要素の名前を編集します。

[削除モード] 選択した XML データの要素をツリービューから削除します。

3-2-3. データマッピングとデータマッピングの解除

変数と XML データの要素をデータマッピングする方法と、データマッピングを解除する方法を 説明します。

データマッピング

データマッピングを行う場合は、マッピング操作モードを "マッピングモード"に設定し、変数リストから対象の変数を選択してから XML データの要素を選択します。

♦♦ 操作 ♦♦

操作モードバーから ″マッピングモード ″をクリックします。

図:操作モードバー

マッピング操作モードが ″マッピングモード ″へ切り替わりました。

#### ♦♦ 操作 ♦♦

変数リストから対象の変数を選択し、データマッピングを行う XML データの要素を選択します。なお、 XML データの要素を選択する際にカーソルが [OK?] に変化します。データマッピングを行う場合は左 クリックをしてください。なお、データマッピングの動作をキャンセルする場合は、[OK?] の際に右 クリックをしてください。

変数リストの変数と XML データの要素のデータマッピングが完了すると、以下のような状態に なります。これでデータマッピングの操作は完了です。 この例では、変数リストの "ADDRESS" と XML ツリーの要素 "住所 1" をデータマッピングして います。

### <u>図:データマッピング</u>

Detemap21'+8 -	334L - [h	oken_xmi]							-	ALC: NO.	4	A	design of the second se
77(1)(日) 編集(日)	6-)*(M)	表示(1) 171	10(Q) AA7"(H)		-		_	-	-				
	00	10日日 (四)	XXIEDI	P (20) 9	2 3 6	民民							
ANG .	HDI	網性	2:42/7%88	318/5-1	r when	CHER HIN	1112	191					
ACORESS	9439	友	(17)11	318		*	書作						
来都名	1831	業性	わビング情報	集計	重複数状	ヘデ出力範囲		III OneToD	10	66	68.	18	18
Dutp	9433	4			教示.			·····································	8	8	8		
D CUSTOMERNA.	. 982)	在			調用			0 85	1				
DNUMPOST	9429	夏			表示			0 85	ŝ	8	8	8	8
ALCHESS	2920	- E	(CPR)		8.0			AP 45	٣	-			
D ADDRESS2	7822	左			調査			- (17)	-	_			
DEARPOST	1-2-1							-A 11-3		NAME:	CREETINGS	1月日本11日本中	1月11日月日
DBALANCE	9422				教授			I Q Litt.	-1-	generation of the second	100000000000000000000000000000000000000		and the second
DETAILS	2197	181117						-9 L-1	MA	18	18		
D SERVICES	27.37	1-5-50-5					- 12	9 1	1				
DHOKENNAME	7822	左			表示		- 11	-97	1				
DHORENLOAN	9425	<b>E</b>			82			1.4 651	8				
DLOANNAME	9429	Æ			表示								
DLOAN	5425	-			教育								
DIFUBLIC	P82)	石			教示								
D COMMENT	9825	増し込み			教示								
DASSETS	0'97	円7:57											
DEPOSITIVANE	9822	左			表示								
D DEPOSIT	9425	石			調査								
Disout	9829	石			27								
DEXCHANGE	9820	4			22								
C CH CONTO	10.10						. *					-	
1774	_			_	_				-			操(用+)" (2	通作(+)**+?(122)***********************************

### $\ll$ Tips >>

データマッピングは複数同時に行うことができます。変数リストから複数の変数を選択し、 XML ツリーの要素をクリックします。選択した変数はすべて同じ XML ツリーの要素へデータ マッピングすることができます。

### データマッピングの解除

データマッピングの解除は、変数リストから対象の変数を選択してデータマッピングの解除を 行います。

#### ♦♦ 操作 ♦♦

変数リストからデータマッピングの解除を行う変数を選択し、ツールメニュー[編集]-[マッピング 解除]をクリックします。確認ダイアログが表示されるので、マッピングを解除する場合は[はい] ボタンをクリックします。

<u>図:確認ダイアログ</u>

mpXMLEdit		
<b>?</b> 20	アイテムのマッヒ。ング、を解除	きしますか?
	(\$\u00ed (\u00ed L)	いいえ(N)

 $\ll$  Tips >>

データマッピングの解除は複数同時に行うことができます。変数リストから複数の変数を 選択し、ツールメニュー[編集]-[マッピング解除]をクリックします。

### 3-2-4. 変数の追加

Datamap ファイル作成後に、フォームへ変数を追加した場合は、Datamap エディタに変数を追加(インポート)する必要があります。また、セット帳票のような複数のフォームに含まれる 変数のデータマッピングを行う場合もインポートを行う必要があります。

#### ♦♦ 操作 ♦♦

ツールメニュー[編集]-[変数のインポート]をクリックし、変数のインポートを行うフォームを選 択して [0K] をクリックします。

<u>図:ファイル選択ダイアログ</u>

/ 11////・ C+Create\/10¥cample+00 词田	ヨレポート¥form
	10/10 T #IOLUI
Mansion.fmd	
Gaikafmd Ginkou, Torihikifmd hoken fmd Jogofmd Mansion fmd MultiTablefmd Nenkin Rep fmd Nenkin Rep fmd Shouken Repo fmd	
	キャンセル

フォームに含まれる変数の一覧が表示されますので、インポートを行う変数を選択します。

#### ♦♦ 操作 ♦♦

インポートを行う変数はチェックを付けます。また、インポートを行わない変数はチェックを解除し ます。[0K] ボタンをクリックしてインポートを行います。

図:変数追加選択ダイアログ



3-2-5. 未定義変数とツリーアイテムの保存

Datamap ファイルの保存時に、未定義の変数やマッピングされていないツリーアイテムが存在 する場合はデータマッピング状況に応じて以下のダイアログが表示されます。

#### 未定義の変数が存在する場合

<u>図:未定義変数の保存</u>	
未定義変数の保存	
未定義変数があります。	
◎ 未定義変数を保存する。	
◎ 未定義変数を破棄する。	
OK ++>>th	)

[未定義変数を保存する]

データマッピングが行われていない変数をDatamap ファイルへ保存します。

[未定義変数を破棄する]

データマッピングが行われていない変数は Datamap ファイルへ保存しません。

### マッピングされていないツリーアイテムが存在する場合

図:未定義ツリーアイテムの保存



[未定義ツリーアイテムを保存する] データマッピングが行われていないツリーアイテムを Datamap ファイルへ保存します。

[未定義ツリーアイテムを破棄する]

データマッピングが行われていないツリーアイテムは Datamap ファイルへ保存しません。 なお、ツリーアイテムの破棄によって XML データファイルが変更されることはありません。

未定義の変数とマッピングされていないツリーアイテムが存在する場合 図:未定義アイテムの保存

定義アイテムの保存		3
未定義変数があり	utt.	
◎ 未定義変数	を保存する。	
◎ 未定義変数	で破棄する。	
マッピングされていな	はいツリーアイテムがあります。	
◎ 未定義ツー	アイテムを保存する。	
◎ 未定義ツー	アイテムを破棄する。	
	OK ++>>tu	

「未定義変数を保存する]

データマッピングが行われていない変数を Datamap ファイルへ保存します。

「未定義変数を破棄する]

データマッピングが行われていない変数は Datamap ファイルへ保存しません。

[未定義ツリーアイテムを保存する]

データマッピングが行われていないツリーアイテムを Datamap ファイルへ保存します。

[未定義ツリーアイテムを破棄する]

データマッピングが行われていないツリーアイテムは Datamap ファイルへ保存しません。 なお、ツリーアイテムの破棄によって XML データファイルが変更されることはありません。

3-2-6. フォームビューア (FormViewer)

ツールメニュー [オプション]-[フォームビューア]をクリックすると、フォームビューアが 起動します。フォームビューアには、[データマップ設定]で指定されたフォームの帳票レイ アウトと変数オブジェクトの配置がプレビュー表示されます。 これらの変数オブジェクトを選択することで、変数のインポートやマッピングを確認すること ができます。

※フォームビューアの詳細については「5-2.フォームビューア」をご覧ください。

3-2-7. ドキュメントビューア

ツールメニュー [オプション]-[ドキュメントビューア]をクリックすると、ドキュメント ビューアが起動します。ドキュメントビューアでは XML データファイル (. xml) や Datamap ファ イル (.dmx) の内容を確認することができます。

図:ドキュメントビューア

DocumentViewer - C:¥dev¥v10¥マニュアル¥c¥work¥	X
xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ? - <onetoone> - &lt;顧客'情報&gt; &lt;顧客'情報&gt; &lt;顧客法名&gt;小泰 宏二 様<!--顧客氏名--> &lt;翻客氏名&gt;小泰 宏二 様<!--顧客氏名--> &lt;邮便番号&gt;1600123<!--邮便番号--> &lt;住所1&gt;東京都新宿区新宿1-2-3</onetoone>	* III
<誌言□座戏詞> <必易表取引明細> -    > >  > <td></td>	
	-

### 3-2-8. 自動マッピング

変数リストの変数名と XML ツリーにある同名の要素に対して自動的にデータマッピングを行う 機能です。XML データの要素名を使用してフォームへ変数を配置している場合などは、データ マッピングの作業を自動で行うことができます。

自動マッピングはツールメニュー [オプション]-[自動マッピング]をクリックします。



al (ar M BC (ar L) (D (a) (b) × λ (b)	7HA(E) 編集(E)	-+*(M)	表示(1) 171	⊳( <u>Ω)</u> ∧87°( <u>H</u> )	-				
Citics         Bit / PC/1988         SIL/V/T         V/C2/1988					(R) 95	000	S 16		
www         ref         ref         ref         ref         ref           B5         481         825         6         0	Cit 6	801	HT I	7:077588	TH/WY	1/72078	RANK CHA H	1	
REFS         WEI         Ref         C/2/7/88         REF         REFS         C/2/7/88         REF         REFS         C/2/7/88         REFS         REFS         C/2/7/88         <		1944		um (				<u>k</u>	
Bit         Construction         Non-         Non-         Construction         Non-         Non-         Construction         Non-         Non-         Construction         Non-	REA	18.71	81	115.52.11周期	118	単規数な	Cheroone		
QUETORINAL         Rep         E         CUETORIENANCE         RR           QUETORIENAL         RR         RR         POLOTORIENALS         POLOTORIENALS           QUETORIENAL         RR         RR         POLOTORIENALS         POLOTORIENALS           QUETORIENAL         RR         POLOTORIENALS         POLOTORIENALS         POLOTORIENALS           QUETORIENALS         RR         POLOTORIENALS         POLOTORIENALS         POLOTORIENALS           QUETORIENALS         RR         POLOTORIENALS         POLOTORIENALS         POLOTORIENALS           QUETORIENAL         RR         RR         POLOTORIENALS         POLOTORIENALS           QUETORIENAL         RR         RR         POLOTORIENALS         POLOTORIENALS           QUETORIENALS         RR         POLOTORIENALS         POLOTORIENALS         POLOTORIENALS           QUETORIENALS         RR         POLOTORIENALS         POLOTORIENALS         POLOTORIENALS           QUETORIENALS	nin	160	- 6	uip		88	COSTONEDURO		
Baukeost         Nameost         Bit         Gradeost         Mark           Accesss         Na         E         Accesss         Mark           Accesss         Na         E         Accesss         Mark           Accesss         Na         E         Accesss         Mark           Baukeott         No         E         Accessa         Mark           Baukeott         No         E         Mark         Mark           Baukeott         No         E         Mark         Mark           Baukeott         Mark         Mark         Mark         Mark           Baukeott         Mark         Ma	CUSTOMERNA.	942)	Æ	CUSTOMERNAME		調算	AP CUSTOMERNAN	ME	
Quecess         H9         E         Access         MR           Quecess         H9         E         Access         MR           Quecess         H9         E         Access         MR           Quecess         H9         E         Autors         MR           Quecess         H7         BANOST         CFALS         CFALS           Quertals         H7         BANOST         CFALS         FREMOSE           Quertals         H7         H7         H7         RANOST           Quertals         H9         E         HORMANE         RR           Quertals         H9         E         LOANNER         RR           Quertals         H9         E         LOANNER         RR           Quertals         H9         E         COMENT         RR           Quertals         H9         E         PRESCH         RR           Quertals         H9         E         PRESCH <t< td=""><td>NUMPOST</td><td>2422</td><td>雇</td><td>NUMPOST</td><td></td><td>教育</td><td>OF NUMBORT</td><td>5.35 M</td><td></td></t<>	NUMPOST	2422	雇	NUMPOST		教育	OF NUMBORT	5.35 M	
BACORESS         NHP         E         ADDRESS         MHP         E         MHPOST         Impost         Impost <td< td=""><td>ADDRESS</td><td>2425</td><td>在</td><td>ADDRESS</td><td></td><td>教学</td><td>AT ADDRESS</td><td></td><td></td></td<>	ADDRESS	2425	在	ADDRESS		教学	AT ADDRESS		
BANDOST         Pr->P         BANDOST           BANDOST         Pro-         Pro-	ADDRESS2	<b>FH2</b> F	茬	ADDRES52		教示	GT ADDRESS2		
BullAuck         Ho         B         BALANCE         B         B           BERULES         F/F         HY/F         BERULES         F         Image: Company         Imag	BARPOST	1-2-1		BARPOST			OF BARPOST		
Bertuls         PV0         WV7         Detruits           Bertuls         PV0         HV7         Detruits           Bertuls         PV0         HV7         Detruits           Booknawel         RB         Hocknawel         RB           Booknawel         RB         Lowaneel         RB           Booknawel         RB         Lowaneel         RB           Booknawel         RB         RB         HORS           Booknawel         RB         RB         RB	BALANCE	9429	- 6	BALANCE		教示	H & REPORT		
BERUICES         FU1         H-FH-H-B         BERUICES           DICORDINUME         HIP         E         H-GORTINUME         BERUICES           DICORDINUME         HIP         E         H-GORTINUME         BERUICE           DICADANUME         HIP         E         H-GORTINUME         BERUICE           DICADANUME         HIP         E         H-GORTINUME         BERUICE           DICADANUME         HIP         E         LOANUME         BERUICE           DICADINUME         HIP         E         LOANUME         BERUICE           Contention         HIP         E         DEPOSITIONE         BERUICE           DIFORT         HIP         E         DEPOSITIONE         BERUICE	DETAILS	2197	181'17	DETAILS		2010	# A RATEINFO		
Incomment         Ho         E         Hommunic         R#           Buckmark         HB         E         Hommunic         R#           Buckmark         HB         E         Lowance         R#           Bradict         HB         E         Rest         R#           Bradict         HB         E         RB         R#	SERVICES	2"37	1-5-5++)	SERVICES			# PERSON		
Discrimiticades         Hold Publicades         第第           Discrimiticades         Hill         E         LOANIANE         第第           Discrimiticades         Hill         Hill         Discrimiticades         第第           Discrimiticades         Hill         E         Discrimiticades         第第           Discrimiticades         Hill         E         Discrimiticades         第第           Discrimiticades         Hill         E         Discrimiticades         1           Discrimiticades         Hill         Discrimiticades         1         1           Discrimiticades         Hill         Discrimiticades         1         1           Discrimiticades         Hill	HOKENNAME	762)	互	HOKENNAME		教示			
BLOAMINE INS E LOANINE RA BLOAMINE INS E LOANINE RA BNRUCH INS E LOAN RA BNRUCH INS E RULL RA Generative INS E RULL RA Generative INS E ROMANT RA BREAT INS E RECOMMENT RA BREAT INS E RECOMMENT RA BREAT INS E RECOMMENT RA BREAT INS E RECOMMENT RA	HOKENLOAN	9425	-	HOKENLOAN		##			
BLOW PAN EL LOW ME PARLE HIN EL LOW ME DIRUC HIN EL PARLE ME COMMUNT HIN MLUG COMMUNT ME DEFOSITIVE HIN EL DEFOSITIVE BERGET HIN EL DEFOSITIVE BOLO HIN EL DEFOSITIVE ME DEFOSITI ME BROUNNER HIN EL DEFOSITIVE ME DEFOSITI ME DEFOSITIVE HIN EL DEFOSITIVE ME	LOANNAME	9429	Æ	LOANNAME		表示			
BARLE NO E FUELC RE GOMENT NO E FUELC RE BASIST FO PFD ASIST BOFOSTINUE NO E DEPOSTINUE RE BOFOSTINUE NO E DEPOSTINUE RE DEPOSTO NO E DEPOSTINUE RE	LOAN	5420	8	LOAN		表示			
COMENT ND 常し込み COMENT 意思 Assers PD PRP Assers Devositive NP NP Assers Devositive NP E DEvositive 思想 Devositi NB E DEvositi 思想 Devositi NB E Devositi 思想 Devositi NB E Devositi 思想 Devositi NB E Devositi 思想	PUBLIC	1422	石	PUBLIC		<b>#</b> 7			
Aleastra pro Pario Aleana Berostruve ha E perostruve ## Berostruve ha E perostruve ## Berout Ha E perostru ## Berout Ha E perostru ## Berout Ha E perostru ## Berout ##	COMMENT.	P#25	10.02	COMMENT		80			
Biochance Hea & Diconvet Bia Genosti, Hea & Diconvet Bia Denosti, Hea & Discotti Bia Denosti, Hea & Discotti Bia	ASSETS	0'57	FE1" \$2	ASSETS		50753			
	CERCITIVANE	8425	The second secon	DEPOSITIVAME		-			
	REPOSIT	8425	=	DEPOSIT		-			
	B coin	5474	-	0010					
A CONTRACT IN THE SOLUTION AND INC.	a forest the	1474	-	ENCLINE		and a	2		
	a showing a	reed		and showing the	-	+			

<< 注意 >>

同ロケーションに属する要素が複数存在する場合に自動マッピングを行った場合には、一 番最初に出現した最上位の要素に対してのみ自動的にマッピングが行われます。また、デー タマッピングの変更やその他の設定を行う場合は、設定に応じて行う必要があります。

### 3-3. XML での改ページ設定について

複数ページの帳票出力を行う場合には、Datamap エディタ上で改ページ設定を行います。 XML での改ページ設定は、XML データの要素の終了や要素の繰り返しごとに設定します。 ※改ページについての詳細は Design マネージャのメニュー [ ヘルプ ]- [ オンラインマニュア ル ] から「3. 機能リファレンス」-「3.5 改ページとフォームの切り替え」-「改ページ」を ご覧ください。





改ページ設定を要素の終了で設定した場合、この例では「社員」要素の終了後に改ページ処理 が行われます。





改ページ設定を要素の繰り返しで設定した場合、この例では「社員」要素を5回繰り返すごと に改ページ処理が行われます。

改ページ設定はツールメニュー[モード]-[改ページ設定]をクリックします。 ※操作モードバーの[改ページ設定モード]でも同様に設定可能です。

図: 改ページ設定モード

日本(二)	(T.)		A 11 77 (1 1)			
编集(E)	t-r	(M) 201(V) 1/ 201(U)	7010 (H)			
8		₹୬Է° ング* (P)		8 🔜 🖸	3 2 2	、品
	•	改ページ設定(C)	ĝ	本体/^ック	ド ヘッダ出力範	囲 1
		要素ノードの生成(N)		本体	▼ 全へ <sup>e</sup> -ジ <sup>i</sup>	-
		属性ノードの生成(A)	情報	集計	重複表示	0
YEE_ID		編集(E)	号		表示	(
		削除(D)			表示	

改ページ設定モードに変更後に、XML ツリーから改ページのキーとしたい要素をクリックして 改ページ設定を行います。XML ツリーの要素をクリックすると以下の改ページ設定ダイアログ が表示されます。

#### 図: 改ページ設定ダイアログ

ロケーション( <u>P</u> ):	/社員名簿/社員
■ 改へ <sup>*</sup> ージ1	发定( <u>S</u> )
種別(工):	要素の終了後、改パージー
編り返し数(	0: 1
郑明(E) 1ケーションに示る ういます。	\$わる要素の終了をキーとして、改ペーシを

[改ページ設定]にチェックを入れ、[種別]から改ページ方法を設定します。 改ページ種別は、以下の設定項目から選択します。

[要素の終了後、改ページ] XML ツリーの要素の終了をキーとして改ページ処理を行います。

[要素の繰り返し後、改ページ] XML ツリーの要素が複数存在する場合に、その要素が指定回数出現した後に改ページ処理を行います。なお、指定回数は [繰り返し数]から指定します。

[要素の終了後、ユニット切り替え] マルチフォームの帳票出力を行う場合に使用します。 [要素の終了後、改ページ]と同様、XML ツリーの要素の終了をキーとして改ページ処理を行い、 次ページの出力に使用するジョブユニットを切り替えます。 ※マルチフォームについての詳細は Design マネージャのメニュー [ヘルプ]-[オンラインマ ニュアル]から「3. 機能リファレンス」-「3.5 改ページとフォームの切り替え」-「マルチフォー ム」をご覧ください。

[要素の繰り返し後、ユニット切り替え] マルチフォームの帳票出力を行う場合に使用します。 [要素の繰り返し後、改ページ]と同様、XML ツリーの要素が複数存在する場合に、その要素 が指定回数出現した後に改ページ処理を行い、次ページの出力に使用するジョブユニットを切 り替えます。

※マルチフォームについての詳細は Design マネージャのメニュー [ ヘルプ ]- [ オンラインマ ニュアル ] から「3. 機能リファレンス」-「3.5 改ページとフォームの切り替え」-「マルチフォー ム」をご覧ください。

以上の設定を行い、[OK] ボタンをクリックすると改ページ設定が完了します。 改ページ設定を行った XML ツリーの要素アイテムの表示が変わっていることを確認してください。 図: 改ページ設定後の要素アイテム



3-4. ヘッダマッピング

1. 概要

ヘッダマッピングとは、データソースの特定の部分を特殊に扱い、出力ジョブを通してその特 定部分の XML データを1ページ目のみまたは全ページに出力する機能です。 XML データマップ形式では、XML ツリーの要素に対する通常のデータマッピングを行う際に、 ヘッダマッピングの設定を行うことができます。

2. ヘッダマッピングの設定

変数リストから既にデータマッピングが行われている変数を選択し、パラメータバーの [本体 / ヘッダ]から [ ヘッダ ] を設定します。この設定によって選択されている変数がヘッダマッ ピングに設定されます。

3. 出力範囲の設定

ヘッダマッピングした変数を全ページに出力するか、1ページ目のみに出力するかを設定しま す。

変数リストから既にヘッダマッピングが行われている変数を選択し、パラメータバーの[ヘッ ダ出力範囲]から[全ページ]または[1ページ]を選択します。全ページを選択した場合は、 全ページにデータが出力されます。また、1ページを選択した場合は、最初のページにだけデー タが出力されます。

### 3-5. 定型 XML

### 1. 概要

定型 XML とは Create!Form 独自の要素で構成された XML ツリー構造です。 改ページやマルチフォームの出力を行う際には、この定型 XML ツリー構造を任意の XML データ に組み込んで出力することができます。

```
定型 XML データ構造
```

```
<create_doc>
<create_unit create_unit_no="1">
<create_page>
.
```

```
</create_page>
</create_unit>
</create_doc>
```

各要素と属性の意味は以下の通りです。

要素	説明		
create_doc	定型ツリー	構造のルート要素。	
	子要素に "ci	reate_unit" 要素を一つ	の以上持つ。
	子要素	説明	
	create_unit	ジョブユニット出力律	範囲を示す要素。
		<create_unit> <math>\sim</math> <td>reate_unit&gt; までを一つのジョブユニッ</td></create_unit>	reate_unit> までを一つのジョブユニッ
		トで出力する。"creat	te_page" 要素を一つ以上持つ。
		また、ジョブユニッ	ト ID を示す "create_unit_no" 属性を持
		つことができる。	
		属性	説明
		create_unit_no	ジョブユニット ID を示す属性。
			"create_unit" 要素に属する。
		子要素	説明
		create_page	ページの出力範囲を示す要素。
			<create_page> <math>\sim</math> </create_page> $\sharp$
			でを1ページ内に出力する。子要素
			には任意の要素構造を持つ。

※ create\_unit\_no 属性に、存在しないジョブユニット ID を指定した場合は、現在使用されているユニットの次のユニットが利用されます。また、先頭の属性に指定したジョブユニット ID が存在しない ID の場合は、1 ユニット目が利用されます。

定型 XML を使用した帳票資源ファイルは、Create!Form 導入ディレクトリの直下の "tut¥ list\_xml¥fix\_data" にあります。この帳票資源ファイルに含まれている Datamap ファイルでは、 改ページ設定は行われておらず、定型 XML によって改ページ処理が行われます。 XML データの確認やテスト実行などを行って、動作を確認してください。

### 3-6. 注意事項

3-6-1. ランタイム実行時のオプション

XML データマップ形式を用いた出力実行の際は、必ず実行時のコマンドラインに実行オプション "-ix" を付加して実行する必要があります。

■ Design マネージャからの実行例

Design マネージャからテスト実行を行う場合は、テスト実行ダイアログによって自動的に "-ix" オプションが付加されます。

<u>図:テスト実行ダイアログ</u>

ジョフウァイル: IO4_hoken	xmlsty		参照( <u>S</u> )
作業ディレクトリ: C:¥Create	√10¥sample¥09	」運用レポート	
データ 出力先 オフション	データベース		
ID データマップ名	データタイフ <sup>®</sup>	データソース名	追加( <u>A</u> )
I HOKER_XIII	MIL	104 HOKEN XIII	マージジョカD(M)
			1
実行ランタイム			
PDF		ED剧	
💿 FormCast (	FormCollect	FormPrint	FormPrintStage
実行コマント・ライン: -DC:¥Cr	eateV10¥sampl	e¥09 運用レポート-ix-sI	04 hoken xmlsty -oI04 l

### ■ API 実行時に渡す引数の例

実行コマンドライン文字列に "-ix" オプションを付加してランタイム実行してください。 -DC:¥CreateV10¥sample¥09\_ 運用レポート -ix -sl04\_hoken\_xml.sty -ol04\_hoken.pdf 104\_hoken.xml

### 4. DB データマップ

### 4-1. 概要

Create!Form では DB データを使用したデータマッピングに対応しています。 DB データは SQL を使用してデータベースからデータ受け取るため、通常のテキストや CSV と いったデータファイルとのデータマッピングとは操作が異なります。DB データを使用してデー タマッピングを行う際は、DB 用 Datamap エディタを使用して行います。DB 用 Datamap エディ タではフォームに含まれる変数と DB データのクエリーカラムをマッピングします。

DB データとデータマッピングをする場合の特徴は以下の通りです。

#### ■データベース設定

DB 用 Datamap エディタでは、フォームの変数と DB データとのマッピングを行う際に、データ ベースを設定する必要があります。 詳細は、「4-2-2. データベース設定」をご覧ください。

#### ■カラムの手動追加

データベースに接続できない環境において、DBデータマップを行う際に使用する機能です。 詳細は、「4-2-5. カラムの手動追加」をご覧ください。

■キーブレイク

ある特定の項目のデータが変化したタイミングで、特定の動作をさせるための機能です。 詳細は、「4-5. キーブレイク」をご覧ください。

■自動マッピング Formファイルで定義した変数名とデータベースから取得したクエリーカラム名が同一の場合 は、自動的にマッピングすることが可能です。 詳細は、「4-2-8. 自動マッピング」をご覧ください。

### 4-2. 基本操作

DB 用 Datamap エディタの基本操作を説明します。 なお、この章の以降は「DB 用 Datamap エディタ」を「Datamap エディタ」と表記します。

基本操作では以下の内容についてそれぞれ説明します。

- ・Datamap エディタの起動方法とエディタの構成
- ・データベース設定
- ・データマッピングとデータマッピングの解除
- ・マッピングされたフィールド番号をずらす
- ・カラムの手動追加
- ・変数の追加と削除
- ・フォームビューア
- ・自動マッピング
- ・ファイルデータソースの使用

4-2-1. Datamap エディタの起動方法とエディタの構成

### Datamap エディタの起動

Datamap エディタにてデータマッピング定義する前に、Job ファイルの作成、Form エディタでのレイアウト設計を行ってください。

Designマネージャのプレビュー表示領域から帳票を選択して、ツールボタン[データマップ 編集]をクリックします。

図:データマップエディタの選択ダイアログ

1月9 つ7 ~ 9/7/	「ルの形式を選択してく	7530%
データファイル:		
フォームファイル:	payment.fmd	+
	○ 7+XP 空	
	o usv 型	
	◯ XML型	
	◎ データベース型	

[フォームファイル]にはジョブユニットリストで選択した Form ファイル (.fmd) 名が表示されることを確認してください。データファイルの形式として [データベース型]を選択して [OK] ボタンをクリックすると、Datamap エディタが起動します。

※データファイルの指定は行えません。なお、Datamap エディタ上から SQL を直接指定することも可能です。

### Datamap エディタの画面構成

Datamap エディタを起動すると以下の画面が表示されます。それぞれの画面構成を説明します。

図 : Datamap	エディ	7
-------------	-----	---

Datamant?	T DB . inner	hant dheT										Income In	E
(1/2) 1040/2	TO BEROA .	I/TI Prefer	1 1010		4579/040		/		/			and the second s	
	12/10.00	X Bo PA 9		1 10 100	1007 (11)		/						
and a	4 3	()) () ())		lad .	<b>7 6</b>	8	/						
1110定 7+-1	1"1- SOLER	手動設定	出力 变影使込	<b>東部相称 東</b> 部	197-1 表示切图	So CER							
			50	DRE-N" MADE	21-44	Concernance of							
ECT	Digment -	28日21 973	EL DQL I	NOC-1 PRAPER	10								-
ment SECURIT	TY,NUM												
ment CONTRA ment CONTRA	CTOR NAME,												
ment AMOUNT	1												
ment TEPON													
M													
M													
H neml - <u>フィールト 番号</u> - カラム名	SECURITY, NUM	2 CONTRACTOR	J CONTRACTOR	4 AMOUNT	5 TERM	5 SIRIAL							
0H nent 1-7ィームト 審察 1-カラム名	I SECURITY NUM	2 CONTRACTOR	J CONTRACTOR	4 AMOUNT	5 TEXM	5 SIRIAL							
0H hen1 7~6十 書号 7754名	1 SECURITY_NUM	CONTRACTOR	1 CONTRACTOR	4 AMOUNT	S TERM	5 SIRIAL							
9H men1 - 가스사 書号 - 까가4名	1 SECURTY NUM	2 CONTRACTOR	3 CONTRACTOR	4 AMOUNT	5 TERM	5 SIRIAL							
H sent - 77-41-審売 - 7754名	1 SECURTY_NUM	2 CONTRACTOR	3 CONTRACTOR	4 AMOUNT	5 TURM	5 SIRIAL							
H tent - フィームト 番号 - カラム名	SECURITY NUM	2 CONTRACTOR	3 CONTRACTOR	4 AMOUNT	E TERM	5 SIRIAL	CONTRACTOR	LOONTRACTOR.	CONTRACTOR	AMOUNTS	IAMOUNT2	AMOUNTI	TE
M sent - カンムも 筆売 - カンム名 - ム実動れ名 - ンノームト 筆用		2 CONTRACTOR	3 CONTRACTOR SECURITY NUM	4 AMOUNT		5 SIRIAL	CONTRACTOR	CONTRACTOR	CONTRACTOR	ANOUNTS	AMOUNT2	AMOUNT1	TE
H Tent - フィームト 番号 - カラム名 - ム支払わ名 - フィームト 番号 分(7) 長元		2 CONTRACTOR SECURETY NUM	3 CONTRACTOR SECURITY,NUM ₩-3(B)		S TERM	5 SIRIAL CONTRACTOR	CONTRACTOR	CONTRACTOR ■ ■ ■ □	CONTRACTOR 3 #-#18	AMOUNTS 年 項目	AMOUNT2 4 第一項目	AMOUNT1 4 項目	TE
H sent - ファムト 等号 - カラム名 - ステムト 等月 - フィームト 害月 50.7% 転示 夏耳表示:		SECURITY NUM	3 CONTRACTOR SECURITY,NUR ₩308		S TERM	SIRIAL SIRIAL	CONTRACTOR	CONTRACTOR	CONTRACTOR #	AMOUNTS ♣ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	AMOUNT2 4 第一項目	AMOUNTI #	Te
H ment - ファール 筆号 - カラム名 - ファール 筆号 - ファール 筆号 - ファール 筆号 - オート 筆号 - オート		SECURITY NUM	3 CONTRACTOR SECURITY NUM M-MB		S TERM	SURAL	CONTRACTOR 	CONTRACTOR 	CONTRACTOR #⊷#B F -	AMOUNTS ∰→项目 -	AMOUNT2 4 11-318	AMOUNTI 4 JU-JIB	Te
H seri -7~5/1975 -77~5/1975 -77~5/1975 -77~5/1975 -77-5/1975 -77-5/1975		SEDURETY NUM	3 CONTRACTOR SECURITY NUM ₩	4 AMOUNT CONTRACTOR 2 #	S TERM	SIRIAL SIRIAL	CONTRACTOR MIINE	CONTRACTOR	CONTRACTOR ₩~#B - - -	AMOUNTS T-XAE	AMOUNT2 4 第一3項目 - - -	AMOUNTI #	Te
H eeri - ファールト電子 - カンム名 - ファールト電子 - ファールト電子 - ファール・電子 - ファート - マートト - マートト - マート - マートト - マート - マートト - マート - マートト - マートト - マートト - マートト - マート - マートト - マート - マー - マート - マート - マー - マート - マー - マート - マー - マー - マー - マー - マー - マー - マー - マー		SEDURETY, NUM 	3 CONTRACTOR SECURITY NUM ₩-1 HB- - - - -	AMOUNT	S TERM	SIRIAL SIRIAL	CONTRACTOR #	CONTRACTOR B - - - - -	CONTRACTOR #	AMOUNTS 4 #	AMOUNIT2 4 単一 二 - - -	AMOUNTI 4 第一第日 -	Te

①**ツールメニュー** Datamap エディタの各種設定を行うことができます。

②**標準バー** 図:標準バー D **J 局 局 図 ロ ロ メ 陶 館 ?** 

ツールメニューで頻繁に使用される機能を使用することができます。

③**データベースバー** 図:データベースバー SQL実行 DB扱続 DB切断 DB設定

ツールメニューで頻繁に使用されるデータベースの機能を使用することができます。

④ビューバー
 図:ビューバー
 二 ゴーバー
 等分割 SQL DBE+\* MAPE... 24-M\*

Datamap エディタのウィンドウ表示を切り替えます。

ツールメニューで頻繁に使用される機能を使用することができます。

⑥ SQL ビュー データベースに対して SQL を実行する場合に使用します。

⑦**リクエストビュー** データベースから取得したデータのクエリーカラムが表示されます。

⑧フィールドビュー Form エディタで定義した変数オブジェクトの変数名やマッピング情報が表示されます。

4-2-2. データベース設定

Create!Form で利用できるデータベースは、ODBC 接続と Oracle 接続の 2 種類です。 ODBC 接続は Windows 環境、Oracle 接続は Windows、UNIX/Linux 環境で動作します。 Create!Form でデータベース接続を利用するには、以下の情報を用意する必要があります。 ・データソース名

- ・ユーザ名
- ・パスワード

これらの情報は、データベースの管理者へお問合せください。

データベース設定は Design マネージャ上から設定し、Datamap エディタから設定したデータ ベース設定を使用します。Design マネージャ上でのデータベース設定は以下の手順で行いま す。

Design マネージャを起動しツールメニュー [設定]-[データソース]をクリックします。 [データソース]、[ユーザ名]、[パスワード]、[DB 種別]を設定し、[登録]ボタンをクリッ クします。これで、Design マネージャ上でのデータベース設定は完了です。 Datamap エディタでは、このデータマップ設定を使用してデータベースへの接続を行います。 Datamap エディタでのデータベース設定は以下の手順で行います。

Datamap エディタのツールメニュー [データベース]-[データベース接続設定]をクリックし てデータベース設定ダイアログを表示します。データベース設定ダイアログの [登録データ ソース]から、Design マネージャ上で設定したデータソースを選択し、[OK]ボタンをクリッ クします。これで Datamap エディタでのデータベース設定は完了です。なお、Datamap エディ タでのデータベース設定は、Datamap ファイルごとに設定しておく必要があります。

4-2-3. データマッピングとデータマッピングの解除

変数とデータベースから取得するデータのマッピングは、SQL で取得したデータのインデック スの参照によって行われます。Datamap エディタのフィールドビューにある「クエリーフィー ルド番号」項目がそのインデックスを示しています。

変数とデータベースから取得したクエリーカラムをデータマッピングする方法と、データマッ ピングを解除する方法を説明します。

データマッピング

データマッピングを行う場合は、初めにデータベースとの接続を行ってクエリーカラムを取得 します。

※データベースへ接続を行わずにデータマッピングを行う場合は、カラムの手動追加を行う必要があります。詳しくは「4-2-5.カラムの手動追加」をご覧ください。

♦♦ 操作 ♦♦

ツールメニュー[データベース]-[データベース接続設定]をクリックして、接続するデータベース を設定し、[OK]ボタンをクリックします。次に、ツールメニュー[データベース]-[データベース接続]をクリックしてデータベースへ接続します。 ※データベースへ正しく接続できない場合は、ユーザ名やパスワードが正しく設定されているかを確

認してください。

データベースへ接続後、SQL ビューへ SQL 文を入力してツールメニュー [データベース]-[SQL 実行]をクリックします。データベースからデータの取得が行われると、リクエストビューへ クエリーカラムが表示されます。DB データマップでは、このクエリーカラムと変数をデータ マッピングします。

#### ♦♦ 操作 ♦♦

データマッピングするクエリーカラムをドラッグして、フィールドビューにあるデータマッピング対 象の変数ヘドロップします。

データマッピングが行われると、変数リストの色が変化します。また、フィールドビューの「ク エリーフィールド番号」にデータマッピングされているクエリーフィールドの番号が表示され ます。このクエリーフィールド番号は、リクエストビューのクエリーフィールド番号と一致し ています。

### データマッピングの解除

データマッピングの解除を行う場合は、フィールドビューの変数リストにある「クエリーフィー ルド番号」をクリックして、一番先頭の「設定なし」を選択します。

4-2-4. マッピングされたフィールド番号をずらす

実行する SQL の変更によってデータマッピングされていたクエリーフィールド番号にずれが生じる場合があります。例えば以下のように SQL を変更した場合です。

SQL 変更前:"select name, company from sample" SQL 変更後:"select id, name, company from sample"

このように一番先頭にデータ項目を追加した場合、それまでデータマッピングされていたデー タのインデックスがすべてずれてしまいます。 このような場合は、ずれたインデックスを一括してずらすことができます。 ツールメニュー[ツール]-[クエリーフィールド番号のシフト]をクリックして、クエリー フィールド番号のシフト設定ダイアログを表示します。

### <u>図:クエリーフィールド番号のシフト設定</u>



ここでシフトさせる量を指定して「OK」ボタンをクリックします。これにより指定した量だけ インデックスがシフトされます。 4-2-5. カラムの手動追加

データベースに接続されていない状態では、以下のようにリクエストビューに何も表示されて いません。そのため、ドラッグ&ドロップによるデータマッピングを行うことができません。

	1-08-1988	ry.dbc]										- Center	
774年(日) 編集(日	) 第市(20 1	H4(I) P'-P'	-1(0) -177110(0	2) 10111000	*A3* (H)								
	(A) IO M	1 -	1	-		-							
1711BE 71-12	(1- SQLER)		い出力 東京語	STATE I	201-1 (BUILD	1 SQL721							
9 9													
SQLET DER	1 Decise -	0182 4	AN Adr	DBI-F. MAP	h								_
クロジーフィームと 田田	1.0												
가()-74-64 (홍목 가()-754-64													
715-74-84 重考 715-254名													
119-34-44 単号 119-514名													
713-77-81 (84) 723-754 8													
71-17-11-11-11 711-714-11 71-47-11-11 71-47-11-11	OEPTI IPETO.	DEPT)	Priz.	HAME BYESS	WO BASE	ALOVER	DE DA IN	ALDEC	ALQUAL BETA	ALDEPEND BYTYD	A HOLE	ALEXTRA	ALSE
110-24-44 84 700-5428 700-5428 700-54 700-24 700-24 700-20	06PT1 IVEGL Hetat	10697) 172542 444483	10 172%, 4448	NAME REG.	WO BASE DISTU-	ALOVER REGUL	DEDU N DESU	ALDE REV.	A QUAL REAL ARTE	ALDEPEND BYESSE	(A. HOLSE ) ) ) ) ) ( ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) )	ALECTRA RESTL	ALSE R
201-24-42 単号 202-2424 21-24-25 単号 21-24-25 単号 2-36(2) 単長で 単位目示で	DEPTI BREAL METAD	0691) 172740 182740	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	NAME PERSAL MATHE	W) BASD DREFAL MENTE	AL OVER 17250- 441410		ALCEC RES.	ALQUAL REFA.	AL DEPEND TREAL METHO	A HOSE BEG, ARAD	AL DITHA REVAL ARTHO	ALSE R
122-21-24 84 222-254 8 222-254 8 222-254 8 222-25-25 222-25-25 222-25-25 222-25-25 222-25-25 222-25-25 222-25-25 222-25-25 222-25-25 222-25-25 222-25-25 222-25 22-25 2	DEPTI INTEGL Metal	DEPT) BERAL MALMEN	10 17254	RAME REGAL MEMB	WO BASID IRTUGU INTERIT	ALOVER BERGL Met#0		ALDES RESL ARTER	ALQUAL REGAL	ALDEPEND BritsL Metall	ALHOUSE BREAL MEMB	AL DITRA REFUL REFUL	IALSI IR III
20-21-24 単号 20-2524名 20-2524名 20-2524名 20-262 20	DEPTI BYESU Metalli - -	DEPT) BREAL MEANING		NAME REFUE defente 	WO BASID IRTUGU IRTUGU II II II II II II II II II II II II II	AL, OVER DETU METAL METAL - -	DE DR. N BREAL ARTAIN C	ALDES BESAL MENAL 	ALQUAL BEVAL MENAL	AL DEPEND DEFAL MELATIO	AL HOLEE BREAL MERTIN	AL DITRA BETTL isteller	ALSI B
20-2-2-24 単号 202-2528 202-20	OEPTI IMRGL MEGNIN - - -	DEPT) BREAL MEANING C		NAME REFL MENTE	W) BASD Refut Internet	AL, OVER DETU METAL METAL - - -	DE DR. M BREAL ARTAIN C - - -	ALDES RESL MERSE 	ALQUAL BETAL HETAL - - -	ALDEPEND Brass attent C - -	AL HOLEE BREAL MERINE - -	AL DITRA REGL MATE	IAL SE IP IP

この状態でも最終的に取得するデータが予め分かっていれば、データベースに接続しなくても 手動でクエリーカラムの設定を行うことができます。ツールメニュー[ツール]-[リクエスト ビュー手動設定]をクリックします。

図:リクエストビュー手動編集ダイアログ

No. カラム名	追加
	肖耶余
	[ 上へ
	下へ
	ОК
	キャンセル

リストビュー手動設定ダイアログが表示されるので、ここで[追加]ボタンをクリックします。 クエリーフィールドの名前 (カラム名)の入力を要求されるので名前を入力します。

<u>図:カラムの追加ダイアログ</u>

肟4名:	TENPO_CO	)DE
	ОК	キャンヤル

図:データベースに接続していない状態

[OK] ボタンをクリックするとクエリーフィールドがリストに追加されます。

<u>図:追加されたクエリーフィールド</u>

No.	カラム名	追加
1	TENPO_CODE	肖耶余
		<u> </u>
		<u> </u>
		ОК
		キャンセル

この作業を繰り返して必要なクエリーフィールドを全て追加登録します。[OK] ボタンをクリッ クすると設定したクエリーフィールドがリクエストビューに登録されます。この状態であれば ドラッグ&ドロップによるデータマッピングが可能になります。

### 4-2-6. 変数の追加と削除

Datamap ファイル作成後に、フォームへ変数を追加した場合は、Datamap エディタに変数を追加(インポート)する必要があります。また、セット帳票のような複数のフォームに含まれる 変数のデータマッピングを行う場合もインポートを行う必要があります。

#### ♦♦ 操作 ♦♦

ツールメニュー [ツール]-[変数の再読込]をクリックし、追加する変数にチェックを付け、[OK]を クリックします。

### 図:変数の追加ダイアログ

変数名	種類	状態	記述
DEPT1	テキスト	未定義の変数	VText
DEPT2	テキスト	未定義の変数	VText
🚺 ID	テキスト	未定義の変数	VText
VAME	テキスト	未定義の変数	VText
WG_BASIC	テキスト	未定義の変数	VText
AL_OVER	テキスト	未定義の変数	VText
DE_DIL_IN	テキスト	未定義の変数	VText
AL_EXEC	テキスト	未定義の変数	VText
AL_QUAL	テキスト	未定義の変数	VText
AL_DEPEND	テキスト	未定義の変数	VText
AL_HOUSE	テキスト	未定義の変数	VText
AL_EXTRA	テキスト	未定義の変数	VText
AL_SEP	テキスト	未定義の変数	VText
TAX_FRAME	テキスト	未定義の変数	VText
ALL_SUM_TOT	テキスト	未定義の変数	VText
V TOTAL	テキスト	未定義の変数	VText

フィールドビューの変数リストが更新されます。

変数を追加(インポート)した後、フィールドビューの変数リストから変数を削除したい場合 は、以下の操作を行ってください。

♦♦ 操作 ♦♦

ツールメニュー [ツール]-[変数の削除]をクリックし、削除する変数にチェックを付け、[OK]をク リックします。

図:変数の削除ダイアログ

安数名	種類	状態	記述	
DEPT1	テキスト		VText	
DEPT2	テキスト		VText	
D ID	テキスト		VText	
NAME	テキスト		VText	
WG_BASIC	テキスト		VText	
AL_OVER	テキスト		VText	
DE_DIL_IN	テキスト		VText	
AL_EXEC	テキスト		VText	
AL_QUAL	テキスト		VText	
AL_DEPEND	テキスト		VText	
AL_HOUSE	テキスト		VText	
AL_EXTRA	テキスト		VText	
AL_SEP	テキスト		VText	
TAX_FRAME	テキスト		VText	
ALL_SUM_TOT	テキスト		VText	
TOTAL	テキスト		VText	

変数削除の確認ダイアログが表示され、[はい]をクリックすると、フィールドビューの変数 リストが更新されます。 4-2-7. フォームビューア (FormViewer)

ツールメニュー[ツール]-[フォームビューア]をクリックすると、フォームビューアが起動 します。フォームビューアには、[データマップ設定]で指定されたフォームの帳票レイアウ トと変数オブジェクトの配置がプレビュー表示されます。

これらの変数オブジェクトを選択することで、変数のインポートやマッピングを確認することができます。

※フォームビューアの詳細については「5-2.フォームビューア」をご覧ください。

4-2-8. 自動マッピング

変数とデータベースとのデータマッピングの作業は、基本的にはマウスでのドラッグ&ドロッ プ、もしくはインデックスによる指定で行います。なお、Form ファイルに定義した変数名とデー タベースから取得するクエリーカラム名が同じであれば自動マッピング機能を使用して、自動 的にデータマッピングをさせることができます。

自動マッピング機能はツールメニュー[オプション]-[自動マッピング]をクリックします。

図:自動マッピングの対象となる変数

フェリーノイニルト 歯ち	1	2	3	4	5	6	7
クエリーカラム名	DEPT1	DEPT2	ID	NAME	WG_BASIC	AL_OVER	DE_DIL_IN
5 10 Th							
•							
フォーノ変類名	DEPT1	DEPT2	lin	NAME	WG BASIC	AL OV/EB	DE DIL IN
フォーム変数名 クエリーフィールド#呈	DEPT1	DEPT2	ID	NAME	WG_BASIC	AL_OVER	DE_DIL_IN
フォーム変数名 クエリーフィールト、番号 データタイフ®	DEPT1  連続項目	DEPT2 2 連続項目	ID 3 連続項目	NAME 4 連続項目	WG_BASIC b 連続項目	AL_OVER 6 連続項目	DE_DIL_IN / 連続項目
フォーム変数名 クエリーフィールド番号 データタイプ 非表示	DEPT1 I 連続項目	DEPT2 2 連続項目	ID 3 連続項目	NAME 4 連続項目	WG_BASIC b 連続項目	AL_OVER 6 連続項目	DE_DIL_IN / 連続項目
フォーム変数名 クエリーフィールド番号 データタイプ 非表示 重雑非表示	DEPT1 1 連続項目	DEPT2 2 連続項目	ID 3 連続項目	NAME 4 連続項目	WG_BASIC ち 連続項目	AL_OVER 6 連続項目	DE_DIL_IN / 連続項目
フォーム変数名 クエリーフィールド番号 データタイプ 非表示 重複非表示 集計	DEPT1 直続項目	DEPT2 2 連続項目	D 建続項目	NAME 4 連続項目	WG_BASIC ち 連続項目	AL_OVER 6 連続項目	DE_DIL_IN / 連続項目
フォーム変数名 クエリーフィールド番号 データタイプ 非表示 重複非表示 集計 総集計	DEPT1 · 1 · 違続項目 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	DEPT2 違続項目 	ID 建続項目 一 一 一	NAME 4 連続項目 「 -	WG_BASIC b 連続項目	AL_OVER 6 連続項目 一	DE_DIL_IN / 連続項目
フォーム変数名 ケエリーフィールド番号 データタイフ <sup>の</sup> 非表示 重複非表示 集計 総集計 キーコリック	DEPT1 連続項目 一 一 一 一	DEPT2 建続項目 一 一 一	ID 連続項目 一 一 一	NAME 基続項目 「 - - -	WG_BASIC b 連続項目 一 一 一	AL_OVER 6 連続項目 一 一	DE_DIL_IN / 連続項目 一 一 -
フォーム変数名 ケエリーフィールド番号 データタイフ。 非表示 重複非表示 集計 総集計 キーフシレク	DEPT1 連続項目 一 一 一 一	DEPT2 建続項目 一 一 一	ID 建続項目 一 一 一 一	NAME - 連続項目 - - - -	WG_BASIC b 連続項目 一 - - -	AL_OVER 6 連続項目 - - -	DE_DIL_IN / 連続項目 一 一 -

4-2-9. ファイルデータソースの使用

ODBC 接続では、以下の3種類のデータソース名が使用できます。

- 1. システムデータソース
- 2. ユーザーデータソース
- 3. ファイルデータソース

(表オブジェクトを含んだ帳票ではファイルデータソースは利用できません。)

この中でファイルデータソースを使用する場合は、データソース名の指定だけでなく以下の設 定が必要となります。

- 1. データソースファイル名をフルパスで指定
- 2. データマップ設定からファイルデータソースを指定

以下にファイルデータソースを使用する手順を説明します。

データソース設定ダイアログにてデータソースファイル名をフルパスで指定します。
 Design マネージャを起動しツールメニュー[設定]-[データソース]をクリックします。
 データソースへデータソースファイル名をフルパスで指定します。

<u>図:データソース設定</u>

登録データソース:	Ci¥datasource¥sample.dsn 🗸 👻
データンース:	C:¥datasource¥sample.dsn
ユーザ名:	user
パマワート*:	••••
DB種別:	ODBCDB -
登録	修正 削除 閉じる

2. データマップ設定からファイルデータソースを指定します。

Datamap エディタのツールメニュー [ データベース ]-[ データベース接続設定 ] をクリックし てデータベース設定ダイアログを表示します。データベース設定ダイアログの [ 登録データ ソース ] から、Design マネージャ上で設定したデータソースを選択し、[ ファイルデータソー スを使う ] にチェックを入れて [OK] ボタンをクリックします。

<u>図:データベース設定</u>

アーダノー人設定	
登録データソース:	C:¥datasource¥sample.dsn 👻
データソース:	C:¥datasource¥sample.dsn
ユーザ名:	user
い*スワート*:	••••
DB種別:	ODBCDB -
☑ ファイルデータンー	- えを使う
データベースタイムア	가待ち時間: 30 秒
(0を指定すると	接続するまで待ち続ける)
タイムアウト時のリト	う(回数: 3 回

### 4-3. 重複非表示

- 1. 概要
  - << 注意 >>

この Datamap エディタによる重複非表示の出力機能は、Create!Form V8 以前の製品をお使いの方のための移行用機能です。新たに設定を行う場合は、Form エディタから表オブジェクトをご使用ください。

重複非表示とは以下の図のように同一のデータが連続して出力されるような場合に、最初の データのみを出力し、残りのデータを非表示にする機能です。

义	÷	诵堂	ത	н	ታ
<u> </u>		111	••		

店名	仕入先名	仕入金額
フレンドストアー本店	埼玉食品(株)	53,804
フレンドストアー本店	埼玉食品(株)	77,950
フレンドストアー本店	㈱岡田屋	44,048
フレンドストアー本店	㈱岡田屋	77,337
フレンドストアー本店	㈱岡田屋	29,174
フレンドストアー立川	店 埼玉食品㈱	53,647
フレンドストアー立川	店 埼玉食品㈱	53,260
フレンドストアー立川	店 (㈱岡田屋	61,039

「フレンドストアー本店」や「フレンドストアー立川店」などが同一データで連続して出力さ れています。重複非表示による出力を行うと以下のような出力となります。

|--|

店名	仕入先名	仕入金額
フレンドストアー本店	埼玉食品㈱	53,804
		77,950
	㈱岡田屋	44,048
		77,337
		29,174
フレンドストアー立川店	埼玉食品(株)	53,647
		53,260
	㈱岡田屋	61,039

このように、同一データで連続して出力されているデータが非表示となります。

2. 重複非表示の設定方法

重複非表示機能を使用するには以下の設定を行います。

Datamap エディタのフィールドビューの変数リストから、重複非表示を適用する項目の「重複 非表示」にチェックを入れます。

<u>図:重複非表示</u>

フォーム変数名	DEPT1	DEPT2	ID
クエリーフィールド番号	1	2	3
データタイフ。	単一項目	単一項目	単一項目
非表示			
重複非表示	V		
集計			- 128
総集計	-	-	
キーブレイク			

### 3. 補足事項

キーブレイク設定と重複非表示が同時に使用されている場合は、キーブレイクの発生ごとに重 複非表示されていた項目が再び表示されます。 ※キーブレイクについての詳細は「4-5.キーブレイク」をご覧ください。

例を用いて説明します。

<u>図:通常の出力</u>

店名	仕入先名
フレンドストアー本店	埼玉食品㈱
フレンドストアー本店	埼玉食品㈱
フレンドストアー本店	(㈱岡田屋
フレンドストアー本店	㈱岡田屋
フレンドストアー立川店	㈱岡田屋
フレンドストアー立川店	㈱岡田屋
フレンドストアー立川店	(㈱デリセゾン

「店名」と「仕入先名」に重複非表示とキーブレイク設定を行い、キーブレイクの優先度は「店 名」、「仕入先名」の順に設定されています。

この設定を使用した場合は、以下のような出力となります。

図:キーブレイクと重複非表示による出力

店名	仕入先名
フレンドストアー本店	埼玉食品(株)
	㈱岡田屋
フレンドストアー立川店	㈱岡田屋
	(㈱デリセゾン

「店名」が「フレンドストアー本店」から「フレンドストアー立川店」に変わってキーブレイ クが発生した場合、「仕入先名」の「(株)岡田屋」が「フレンドストアー立川店」の最初の 出力で再び出力されます。

このように、重複非表示に設定されている場合もキーブレイクによって再び出力される場合が あります。

### 4-4. 集計

### 4-4-1. 概要

### << 注意 >>

この Datamap エディタによる集計の出力機能は、Create!Form V8 以前の製品をお使いの方 のための移行用機能です。新たに設定を行う場合は、Form エディタから表オブジェクトを ご使用ください。

Datamap エディタの集計機能を使うことで、データをある特定のタイミングで集計し、集計データを出力することができます。集計方法としては以下の集計値の出力が行えます。

・合計値

・平均値

• 項目数

### 4-4-2. 集計値の出力

集計値の出力について例を用いて説明します。

#### <u>図:集計値の出力</u>

仕入先名	商品名	仕入金額
埼玉食品(㈱)	生鮮食品	53,804
	果実	77,950
	パン	29,843
	デザート	49,399
	乳製品	92,267
仕入先 計		303,263

例えば、上記のような集計値の出力を行う場合は、集計値設定を行うことで出力することがで きます。なお、集計のタイミングとしては、キーブレイクが発生した時となります。 ※キーブレイクについての詳細は「4-5.キーブレイク」をご覧ください。

Datamap エディタから以下の集計値設定を行います。

#### 図:集計項目

フォーム変数名	TAX_FRAME
ケエリーフィールド番号	14
データタイフ。	単一項目
非表示	
重複非表示	
集計	-
総集計	-
キーブレイク	=

Datamap エディタのフィールドビューの変数リストから集計を行う「集計」項目をクリックすると、集計設定ダイアログが表示されます。

#### <u>図:集計設定ダイアログ</u>

■集計値を出力する。 集計種別	<ul> <li>総集計値を出力する</li> <li>出力文字列指定(全変数共通)</li> </ul>
◎合計 ●平均 ● 13-ド数	位置指定
改べ~ジ	◆照
出刀又千列指定(全変)额共通) 位置指定	データ477が単一時の出力条件 ◎ 全ページ ○ 先頭ページ
▼ 参照)	集計行が次ページの時、前ページに押し込む (全変数共通)
データ編集	単位文字列指定
[設定なし +]	-

ここで左上の「集計値を出力する」にチェックを入れると集計機能が有効になります。 「集計種別」を集計値の種類に応じて設定します。

<u>図:集計設定ダイアログ</u>

<ul> <li>         ・</li> <li>         ・</li></ul>	<ul> <li>総集計値を出力する</li> <li>出力文字列指定(全変数共通)</li> </ul>
<ul> <li>● 合計</li> <li>● 平均</li> <li>● レコート数</li> <li>○ ペページ</li> <li>出力文字列指定(全変数共通)</li> <li>位置指定</li> </ul>	位置指定 参照 データメインが単一時の出力条件 ④ 全ページ 先現ページ
参照 デー <b>%編集</b>	<ul> <li></li></ul>
1234→1,234	

集計種別(合計)の集計行が挿入されて出力されます。

図:出力結果

仕入先コード	仕入先名	商品コード	商品名	今月仕入金額
120	埼玉食品(株)	400 410 420 430	生鮮食品 果実 デザート	53, 804 77, 950 29, 843 49, 399
121	<u> </u>	440	乳製品	92 267 303, 263

### 4-4-3. 総集計値の出力

総集計機能では、通常の項目ごとやページごとの集計とは別に、総集計値を一番最後に出力す ることができます。集計値と総集計値はそれぞれ個別に設定することができます。総集計値を 出力する際は、以下の操作を行います。

Datamap エディタのフィールドビューの変数リストから集計を行う「集計」項目をクリックし、 集計設定ダイアログを表示します。

#### 図:集計設定ダイアログ

☑集計値を出力する 集計種別	✓ 総集計値を出力する 出力文字列指定(全変数共通)
◎ 今計 ◎ 平均 ◎ レフート泼	#23 <b>1</b>
	位置指定
政ページ 山力立文列指守(今夜浙井通)	TENPO_MEI    ◆照…
位置指定	データタイプが単一時の出力条件 ● 全へ~→>> ● 先頭へ~→>>
▼ 参照	☑ 集計行が次ページの時、前ページに押し込む (全変数共通)
データ編集	単位文字列指定
1234→1,234	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

右上の「総集計値を出力する」にチェックを入れます。 この設定によって総集計値の出力が行われます。

図:出力結果

店舗 計	位入先 計	420 430 440	バン デザート 乳製品	31,600 85,410 25,077 325,460 1,469,790	66, 562 30, 779 95, 813 316, 357 1, 555, 478	-34, 962 54, 631 -70, 736 9, 103 -85, 688
<b>総合</b>					7.049.373	-828. 721

全データ行の最後に総集計行が挿入されます。

### 4-4-4. 集計データの編集

集計機能で出力される集計データを以下のような機能で編集して出力することができます。

1. 単位文字列

2. データ編集

以下にそれぞれの機能について説明します。

1. 単位文字列

単位文字列は出力するデータの末尾に任意の文字列を付加する機能です。

例えば、「120円」「80%」のようなデータを出力する場合に、この単位文字列機能を使用します。 単位文字列の設定は集計設定ダイアログから行います。

Datamap エディタのフィールドビューの変数リストから「集計」項目をクリックし、集計設定 ダイアログを表示します。

図:単位文字列設定

シッ編集	単位文字列指定	
[1234→1,234	Ħ	-

「単位文字列指定」のリストボックスからデータに合わせて選択するか、直接単位文字列の入 力を行ってください。 図:出力結果

۴	仕入先名	商品コード	商品名	今月仕人金額	
埼玉食品(株)	400 410 420 430 440	生鮮食品 集実 バン デザート 乳製品	22182 99430 20091 75628 85211		
	(株)間田屋	400 410	生鮮食品 果実	89618 20855	

単位文字列指定によって、集計行に「円」という単位文字列が付加されました。 なお、単位文字列の設定は集計データと総集計データの共通の設定となります。

2. データ編集

変数に対して予め用意されたパターンのデータ編集を指定することができます。

データ編集の指定は、金額・日付・曜日・時刻・などの標準パターンとフリーフォーマットでの指定が行えます。(例えば数値データに対して [3 桁カンマと¥記号を付加]を指定して金額データとして印刷するなど。)

なお、データ編集は集計データと総集計データの共通の設定となります。

※データ編集についての詳細は Design マネージャのメニュー [ ヘルプ ]-[ オンラインマニュ アル ] から「3. 機能リファレンス」-「3.4 集計値の表示とデータ編集」-「データ編集」を ご覧ください。

4-4-5. 集計行への文字列の出力

集計機能により集計値を出力する行に「仕入先 計」などの任意の文字列を出力することがで きます。集計行への文字列の出力を行う場合は、以下の操作を行います。なお、集計を行うタ イミングによって、設定する項目が次にように変化します。

1. キーブレイクごとに集計を行う場合

※キーブレイクごとに集計を行う場合は「4-5.キーブレイク」をご覧ください。

2. 総集計の場合

Datamap エディタのフィールドビューの変数リストから「集計」項目をクリックし、集計設定 ダイアログを表示します。右上の「総集計値を出力する」にチェックを付けると「出力文字列 指定」と「位置指定」の設定が有効になります。総集計に関する文字列の出力はここで設定し ます。

図:総集計設定

店舗計		
位置指定		
TENPO_MEI	+	参照。

「出力文字列指定」へ集計行へ出力する文字列を入力します。「位置指定」へは文字列を出力す るフィールド名を指定します。

ここで指定する「位置指定」は指定するフィールド名によって以下のような出力結果となります。

図:通常の出力

TENPO_CODE	TENPO_MEI	THIS_SHIIRE_GAKU
10	フレンドストアー本店	53,804
		77,950

図:出力文字列指定と位置指定による出力(位置指定:TENPO\_CODEの場合)

TENPO_CODE	TENPO_MEI	THIS_SHIIRE_GAKU
10	フレンドストアー本店	53,804
		77,950
店舗 計		1,710,377

図:出力文字列指定と位置指定による出力(位置指定:TENPO\_MEIの場合)

TENPO_CODE	TENPO_MEI	THIS_SHIIRE_GAKU
10	フレンドストアー本店	53,804
		77,950
	• • •	
	店舗 計	1,710,377

以上のように、出力位置の指定によって出力文字列の出力位置が変化します。

### 4-5. キーブレイク

### 4-5-1. 概要

<< 注意 >>

この Datamap エディタによるキーブレイクの出力機能は、Create!Form V8 以前の製品をお 使いの方のための移行用機能です。新たに設定を行う場合は、Form エディタから表オブジェ クトをご使用ください。

キーブレイク機能とは、ある特定の項目の値が変化したタイミングで、特定の動作をさせるための機能です。具体的には、次のようになります。

仕入先名	商品名	仕入金額
埼玉食品㈱	生鮮食品	53,804
2	果実	77,950
	パン	29,843
	デザート	49,399
	乳製品	92,267
㈱岡田屋	生鮮食品	44,048
2	果実	77,337
	パン	29,174
	デザート	49,639
	乳製品	36,539

このとき、「仕入先名」をキーとして見た場合、「埼玉食品(株)」から「(株)岡田屋」に変わるところでキーブレイクが発生します。

仕入先名	商品名	仕入金額
埼玉食品㈱	生鮮食品	53,804
2	果実	77,950
	パン	29,843
	デザート	49,399
	乳製品	92,267
	ー キーブレイク	· 発生
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

㈱岡田屋	生鮮食品	44,048
	果実	77,337
	パン	29,174
	デザート	49,639
	乳製品	36,539

キーブレイク機能では、このようなタイミングで以下のような処理を行うことが可能です。

- 1. 集計 データを集計し出力
- 2. 改行 空行を挿入
- 3. 改ページ 改ページ処理を行う
- 4. 罫線 罫線を引く

これらの処理は、複数組み合わせて指定することが可能です。

仕入先名	商品名	仕入金額
埼玉食品㈱	生鮮食品	53,804
	果実	77,950
	パン	29,843
	デザート	49,399
	乳製品	92,267
		303,263
㈱岡田屋	生鮮食品	44,048
	果実	77,337
	パン	29,174
	デザート	49,639
	乳製品	36,539
		236,737

上記の例では、次の組み合わせでキーブレイク出力を行っています。

1. 改行

2. 集計

3. 改行

キーブレイクの設定を行うためには、Datamap エディタで以下の設定を行います。

<u>図:キーブレイク</u>

フォーム変数名	TENPO_MEI	TENPO_CODE
ケエリーフィールド番号	設定なし	設定なし
データタイプ	連続項目	連続項目
非表示		
重複非表示		
集計		
総集計		-
キーブレイク	-	-

キーブレイクのキーとして指定したい項目の「キーブレイク」項目をクリックします。

51

### 図:キーブレイク設定ダイアログ

キーフ*レイク設力	き - フォーム変	数名:TENPO_CODE			×
キーフシイク 追加ホタンで	の優先度:	1 ま定してください。			
優先順位	アクション	固定文字出力位置	出力文字列	改行行数	動的オフジェクト名
※ 動的材 追加	ッジェクトが表	示されない場合は (変)	数読込] を行なっ	てください。	OK ++vyer

このリストがキーブレイク発生時の動作(アクション)のリストとなります。[追加]ボタン をクリックすると新しいキーブレイクアクションが登録されます。[アクション]選択項目か らアクションを選択します。

図:キーブレイクアクションの選択

キーフッレイク設定 キーフッレイク 追力ロホッタンフ	を - フォーム変数 の優先度: 5. アケションを指	枚名:TENPO_CODE			X
優先順位	アクション	固定文字出力位置	出力文字列	改行行数	動的初ジェ外名
1	2女へページ゜ マ				
	集計 改行 累線				
a	改行 罫線				
※ 動的材	アジェクトが表示	示されない場合は 変	数読込] を行なっ	てください。	
追加	削除	<u> 上へ</u> 下へ		C	OK ++>tell

[OK] ボタンをクリックするとキーブレイク登録が完了します。 キーブレイクが複数のフィールドに対して設定されている場合、次のような動作をします。

店名	仕入先名	商品名	仕入金額
フレンドストアー本店	埼玉食品(株)	生鮮食品	53,804
		果実	77,950
		パン	29,843
		デザート	49,399
		乳製品	92,267
	㈱岡田屋	生鮮食品	44,048
		果実	77,337
		パン	29,174
		デザート	49,639
		乳製品	36,539
フレンドストアー立川店	埼玉食品(株)	生鮮食品	53,647
		果実	53,260
		パン	80,801
		デザート	69,513
		乳製品	31,050
	㈱岡田屋	生鮮食品	61,039
		果実	37,795
		パン	17,478
		デザート	17,151
		乳制品	36,034

ここで「店名」と「仕入先名」の2つに以下のようなキーブレイク設定がされているとします。

「店名」-キーの優先度:1
1. 改行
2. 集計
3. 改行
「仕入先名」-キーの優先度:2
1. 集計

出力結果は次のようになります。

53

店名	仕入先名	商品名	仕入金額
フレンドストアー本店	埼玉食品(株)	生鮮食品	53,804
		果実	77,950
		パン	29,843
		デザート	49,399
		乳製品	92,267
			303, 263
	㈱岡田屋	生鮮食品	44,048
		果実	77,337
		パン	29,174
		デザート	49,639
		乳製品	36,539
			236,737
			540,000
フレンドストアー立川店	埼玉食品(株)	生鮮食品	53,647
		果実	53,260
		パン	80,801
		デザート	69,513
		乳製品	31,050
			288,271
	(株)岡田屋	生鮮食品	61,039
		果実	37,795
		パン	17,478
		デザート	17,151
		乳製品	36,034
			169,497
			457,768

キーブレイク設定が可能なフィールド数は10までとなっています。各キーの間には優先順位 が存在しており、優先順位が上位のキーブレイクが発生すると、優先順位が下位のキーブレ イクも自動的に発生します。上記の例で言えば、「店名」でキーブレイクが発生すると、「仕入 先名」のキーブレイクも実行されます。 キーブレイク機能に関する概要説明は以上になります。

### 4-5-2. キーブレイクによる集計を行う

キーブレイク機能によってデータを集計し出力するための設定について説明します。 キーブレイクのアクションとして集計を設定するためには以下の設定を行う必要があります。

- 1. 集計対象となるフィールドの設定
- 2. キーブレイクの設定

これらの設定を Datamap エディタから以下のように行います。

### 1.集計対象となるフィールドの設定

集計対象となるフィールドの「集計」項目をクリックして集計設定ダイアログを表示させ、集 計の設定を行います。

### <u>図:集計設定ダイアログ</u>

集計種別	出力文字列指定(全変数共通)
<ul> <li>● 合計</li> <li>● 平均</li> <li>● レコート数</li> </ul>	位置指定
改ページ 中力文字列指定(全変数共通)	·····································
	データタイプが単一時の出力条件 ◎ 全ページ ● 先頭ページ
◆照]	<ul> <li>              ま計行が次へ。一ジの時、前へ。一ジに押し込ま             (全変数共通)      </li> </ul>
データ編集	単位文字列指定
1234→1,234	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

[OK] ボタンをクリックして集計設定ダイアログを閉じます。

### 2. キーブレイクの設定

キーブレイクのキーとなるフィールドの「キーブレイク」項目をクリックしてキーブレイク設 定ダイアログを表示させ、キーブレイクの設定を行います。ここで、集計を行うためには、「ア クション」で「集計」を選択します。

### <u>図:キーブレイク設定</u>

<u>優先順位</u> <u>79%</u> 32 <u>8</u> <u>79%</u> 32 <u>8</u> <u>8</u> <u>8</u> <u>8</u> <u>7</u> <u>8</u> <u>8</u> <u>8</u> <u>8</u> <u>8</u> <u>8</u> <u>8</u> <u>8</u>	キーフシレイク ミカロホシンで	の優先度: 、アウションを	 1 ・			
1 集計 TENPO_CODE	憂先順位	アクション	固定文字出力位置	出力文字列	改行行数	動的初外小外名
	1	集計	TENPO_CODE			
※ 動的オフジェ外が表示されない場合は 【変数読込】 を行なってください。	※ 動的才	ジェクトが表	示されない場合は jog	数読込]を行なっ	てください。	

集計行に出力する文字列の設定もここで行います。集計行に出力する文字列に関しては「4-4-5. 集計行への文字列の出力」をご覧ください。

### 図:集計行の文字列設定

キーフ*レイク設定	臣 - フォーム変	数名:TENPO_MEI			×
キーフレイク 追加ホタンで	の優先度: 、アウションを	1 ▼ 指定してください。			
優先順位	アクション	固定文字出力位置	出力文字列	改行行数	動的打ジェ外名
1	集計	TENPO_CODE	店舗計		
※ 動的力	バシシュクトがま	表示されない場合は [変]	敬読込] を行なっ	てください。	
istn	∎ilR≆			C	OK +++'/7/
	LI JIM			L	

[OK] ボタンをクリックしてキーブレイク設定ダイアログを閉じます。 必要な設定は以上です。

义	:	出力結果

店コード	唐名	仕入先コード	仕入先名	商品コード	商品名	今月仕入金額	前年仕入金額	前年差
10	フレンドストアー 本店	120	埼玉食品(株)	400 410 420	生鮮食品 果実 バン	53, 804 77, 950 29, 843 49, 399	35, 460 67, 119 12, 234 93, 431	18, 34 10, 83 17, 60
		121	(株)岡田屋	440 400 410 420	7.11 乳(()) 生果 ()ン	92, 267 92, 267 44, 048 77, 337 29, 174	93, 173 26, 463 43, 608 93, 216	-90 17.58 33.72 -64.04
		141	(株)デリセゾン	430 440 400 410 420	デザート 乳製品 生鮮食品 果実ン	49, 639 36, 539 57, 263 95, 988 82, 482	70, 705 47, 635 45, 752 90, 713 66, 800	-21.06 -11.09 11.51 5.27 15.68
		223	POP食品(株)	430 440 400 410 420	デザート 乳製倉品 果実	92,051 28,317 62,950 45,139 59,109	89, 272 16, 403 15, 008 78, 654 65, 434	2, 77 11, 91 47, 94 -33, 51 -6, 32
		300	(株) 种立川	430 440 400 410 420	デザート 乳製舞会品 果実ン	47, 489 68, 971 34, 944 14, 019 32, 210	42, 533 68, 416 58, 637 99, 314 46, 220	4, 95 55 -23, 69 -85, 29 -14, 01
		310	(株)乃屋	430 440 400 410 420	デザート 乳製品 生鮮食品 果実 パン	56, 086 56, 828 43, 000 90, 042 76, 187	56, 982 67, 654 60, 111 97, 184 48, 044	-89 -10, 82 -17, 11 -7, 14 28, 14
0	店舗 計 フレンドストアー 立川店	120	埼玉食品(株)	440	デザート 乳製品 生鮮食品	40, 909 86, 393 1, 710, 377 53, 647	62, 696 78, 077 1, 836, 948 46, 848	-21, 78 8, 31 -126, 57 6, 79

4-5-3. キーブレイクによる集計行をページ内に収める

キーブレイクによって集計値を出力する場合、行数の関係で集計行だけが次のページに出力さ れてしまうことがあります。

仕入先名	商品名	仕入金額
埼玉食品㈱	生鮮食品	53,804
	果実	77,950
	パン	29,843
	デザート	49,399
	乳製品	92,267
仕入先 計		303,263
㈱岡田屋	生鮮食品	44,048
	果実	77,337
	パン	29,174
	デザート	49,639
	乳製品	36,539
	改ページ	
仕入先名	商品名	仕入金額

このような場合に集計行だけページ内に収めることができます。

この機能を使用するためには、Datamap エディタで以下の設定を行います。 集計設定がされているいずれかのフィールドの「集計」項目をクリックして集計設定ダイアロ グを表示します。

236,737

义	:	集計設定
---	---	------

仕入先 計

<ul> <li>✓ 集計値を出力する</li> <li>集計種別</li> <li>● 今計</li> <li>● 平均</li> <li>● 17-150</li> </ul>	<ul> <li>総集計値を出力する</li> <li>出力文字列指定(全変数共通)</li> </ul>
	位置指定
出力文子列指定(全类数共通) 位置指定	テ゚ータタイブが単一時の出力条件 ◎ 全ページ ● 先頭ページ
◆照_]	集計行が次ページの時、前ページに押し込む (全変数共通)
7°∽%## 1234→1,234 ▼	単位文字列指定 ▼

[集計行が次ページの時、前ページに押し込む] ヘチェックを入れます。

図:集計行が次ページのとき、前ページに押し込む

集計行が次ページの時、前ページに押し込む (全変数共通)
---------------------------------

必要な設定は以上です。

4-5-4. キーブレイクによる改ページを行う

キーブレイク機能によって改ページを行うための設定について説明します。

キーブレイクによる改ページ処理を行うためには Datamap エディタで以下の設定を行う必要が あります。キーブレイクのキーとなるフィールドの「キーブレイク」項目をクリックしてキー ブレイク設定ダイアログを表示し、キーブレイクの設定を行います。ここで、改ページを指定 するためには「アクション」で「改ページ」を選択します。

図:	+-	ブ	レイ	ィク	で改ぺ	ージア	ック	シ	Ξ	ン	・を設定
----	----	---	----	----	-----	-----	----	---	---	---	------

キーフ*レイク語の	主 - フォーム変数	祝名:TENPO_CODE			x
キーフ しイク 追加ホッシンで	の優先度: E、アウションを指	1 定してください。			
<u>優</u> 先順位 1	795aン 2011年1月 -	固定文字出力位置	出力文字列	改行行数	動的打沙亞外名
※ 動的才	フジェクトが表示	っされない場合は 図	敬読込] を行なっ	てください。	
追加	削除	[上へ] [下へ		C	OK ++>>セル

[OK] ボタンをクリックしてキーブレイク設定ダイアログを閉じます。 必要な設定は以上です。

図:出力結果 03-10 月度 日付 2003-10-01 00:00:00 仕入先名 商品コード 商品名 仕入先コード 120 今月仕入金額 店コード 店 名 フレンドストアー 本店 前年仕入金額 前年差 生鮮食品 生果バデ乳生果 、デ乳生果 実 18, 344 10, 831 17, 609 -44, 032 -905 埼玉食品(株) 53, 804 77, 950 29, 843 49, 399 92, 263 49, 399 92, 244 40, 639 36, 539 95, 988 82, 482 92, 051 26, 950 45, 109 947, 489 68, 971 34, 944 132, 210 556, 828 43, 0042 76, 187 40, 909 88, 393 35, 460 67, 119 12, 234 93, 431 93, 173 93, 173 93, 216 43, 608 93, 216 70, 702 47, 635 44, 42, 533 68, 416 58, 637 99, 111 48, 804 46, 220 56, 982 57, 635 48, 404 48, 804 46, 220 57, 635 48, 404 48, 804 46, 220 57, 635 48, 804 48, 804 46, 220 57, 635 48, 804 48, 804 46, 220 57, 635 48, 804 48, 804 46, 220 57, 635 47, 635 47, 635 48, 80548, 805 48, 805 48 -906 17.585 33.729 -64.042 -21.065 -11.096 -11.096 -11.511 5.275 15.682 2.779 11.942 -33.515 -6.325 -6.325 -555 -23.693 -255 -23.693 -255 -23.693 121 (株)岡田屋 ホバデ乳生産 141 (株)デリセゾン 223 POP食品(株) バンテザー 300 (株) 神立川 -896 -10, 826 -17, 111 -7, 142 28, 143 -21, 787 8, 316 310 (株)乃屋 パン デザート 乳製品

4-5-5. キーブレイクによる改行を行う

キーブレイク機能によって改行を行うための設定について説明します。

キーブレイクによる改行処理を行うためには Datamap エディタで以下の設定を行う必要があり ます。キーブレイクのキーとなるフィールドの「キーブレイク」項目をクリックしてキーブ レイク設定ダイアログを表示し、キーブレイクの設定を行います。ここで、改行を指定するた めには、「アクション」で「改行」を選択します。必要であれば、改行する行数を「改行行数」 項目に入力します。

※改行が次ページにかかる場合、次ページの改行は削除されます。

図:キーブレイクで改行アクションを設定

キーフッレイク語文	+-7"レイ/設定 - フォーム変数名: TENPO_CODE					
キーフシイク 追加ホタンで	の優先度: 、アクションを指	1 定してください。				
<u>優</u> 先順位 1	アクション 政行 マ	固定文字出力位置	出力文字列		動的初沙小小名	
※ 動的材	ジェクトが表示	されない場合は 図	数読込] を行なって	てください。		
追加	削除	上へ 下へ			OK ++>1211	

[OK] ボタンをクリックしてキーブレイク設定ダイアログを閉じます。 必要な設定は以上です。

図:出力結果

店コード	唐名	仕入先コード	仕入先名	商品コード	商品名	今月仕入金額	前年仕入金額	前年差
20	フレンドストアー 立川店	141 223	(株)デリセゾン POP食品(株)	410 420 430 440 400 410	<b>果実</b> パジート 乳製品品 果実	34, 078 26, 931 94, 905 96, 203 36, 325 24, 342	34, 923 91, 910 30, 483 12, 851 66, 384 89, 852	-845 -64, 979 64, 422 83, 352 -30, 059 -65, 510
		300	(秋)神立川	420 430 440 400 410 420	バン デジート 乳鉄鉄食品 集実 パン	64, 191 13, 922 44, 912 98, 386 65, 555 64, 461	96, 133 30, 938 77, 035 61, 968 32, 310 91, 006	-31, 942 -17, 016 -32, 123 36, 418 33, 245 -26, 545
		310	(株)乃屋	440 400 410 420 430 440	テ 乳(鮮 業 来 ン デ 乳 ジ ジ ジ ジ 製 業 パ デ デ ジ 製	50, 092 53, 030 33, 892 10, 010 10, 704 22, 697	59, 003 50, 531 22, 412 24, 252 28, 633 43, 106 39, 461	5, 390 -439 30, 618 9, 640 -18, 623 -32, 402 -16, 764
30	フレンドストアー 三鷹店	120	埼玉食品(株)	400 410 420 430	生鮮食品 栗実 バン	84, 373 80, 687 82, 076 37, 650	97.981 70.082 99.946 93.439	-13, 608 10, 605 -17, 870

4-5-6. キーブレイクによる罫線描画を行う

キーブレイク機能によって罫線を描画するための設定について説明します。 キーブレイクによる罫線描画を行うためには以下の作業を行う必要があります。

1. Form エディタで罫線オブジェクトを定義する

2. Datamap エディタで罫線描画のタイミングを設定する

1. Form エディタで直線オブジェクトを定義し、動的オブジェクトとして動的オブジェクト名「KEISEN」で保存します。

※動的オブジェクトについての詳細は Design マネージャのメニュー [ ヘルプ ] - [ オンライン マニュアル ] から「3. 機能リファレンス」-「3.3 フォームオブジェクト」-「動的オブジェクト」 をご覧ください。

2. Datamap エディタで、作成した動的オブジェクトを呼び出す設定を行います。

ツールメニュー[ツール]-[変数の再読込]を実行して、作成した動的オブジェクトを読み込 みます。

※変数の再読込についての詳細は「4-2-6.変数の追加と削除」をご覧ください。

#### <u>図:変数の再読込</u>



キーブレイクのキーとなるフィールドの「キーブレイク」項目をクリックしてキーブレイク設 定ダイアログを表示さし、キーブレイクの設定を行います。ここで、罫線描画を指定するため には、「アクション」で「罫線」を選択します。描画したい動的オブジェクト名を「動的オブジェ クト名」項目で選択します。

#### 図:キーブレイクで罫線アクションを設定

-ブレイク設定 キーブレイク	ミ - フォーム変 の優先度:	·数名:TENPO_CODE			
追加ホタンで 優先順位 1	、アウションを: アウション 罫線	指定してください。	出力文字列	改行行数	動的オフジェクト名 KEISEN ・
※ 動的オ	バンディクトナドネ	まっされない場合は 咳	物読込1 友行なっ	てください。	
※ 動的材 追加	7ジェクトがま   削除	示されない場合は 図 □ □ 上へ □ □ 下へ	散読込] を行なっ	てください。	OK ++>>t/

[OK] ボタンをクリックしてキーブレイク設定ダイアログを閉じます。 必要な設定は以上です。

#### 図:出力結果

店コード	唐名	仕入先コード	仕入先名	商品コード	商品名	今月仕入金額	前年仕入金額	前年差
10	フレンドストアー 本店	120	埼玉食品(株)	400 410 420	生鮮食品 果実 パン	53, 804 77, 950 29, 843	35, 460 67, 119 12, 234	18.344 10.831 17.609
		121	(株)岡田屋	430 440 400 410 420	デザート 乳製品 生鮮食品 果実 パン	49, 399 92, 267 44, 048 77, 337 29, 174	93, 431 93, 173 26, 463 43, 608 93, 216	-44, 032 -906 17, 585 33, 729 -64, 042
		141	(株)デリセゾン	430 440 400 410 420	デザート 乳製品 生鮮食品 果実 パン	49, 639 36, 539 57, 263 95, 988 82, 482	70, 705 47, 635 45, 752 90, 713 66, 800	-21,066 -11,096 11,511 5,275 15,682
		223	P0P食品(株)	430 440 400 410 420	デザート 乳製品 生鮮食品 果実 パン	92, 051 28, 317 62, 950 45, 139 59, 109	89, 272 16, 403 15, 008 78, 654 65, 434	2,779 11,914 47,942 -33,515 -6,325
		300	(株)神立川	430 440 400 410 420	デザート 乳製品 生鮮食品 果実 バン	47, 489 68, 971 34, 944 14, 019 32, 210	42, 533 68, 416 58, 637 99, 314 46, 220	4, 956 555 -23, 693 -85, 295 -14, 010
		310	(株)乃屋	430 440 400 410 420	デザート 乳製食品 生果実 ン	56,086 56,828 43,000 90,042 76,187 40,000	56,982 67,654 60,111 97,184 48,044 62,666	-896 -10, 826 -17, 111 -7, 142 28, 143 -21, 287
20	フレンドストアー 立川店	120	埼玉食品(株)	440 400 410 420	7. - 見製食品 果実 バン	40, 909 86, 393 53, 647 53, 260 80, 801		-21, 787 8 316 6, 799 -16, 778 44, 777

キーブレイクのタイミングに合わせて、罫線が引かれます。

### 4-6. 単一データ出力

4-6-1. 単一データ出力

<u>図:単一データ出力</u>



上記のような単一データ(リスト形式ではないデータ)を出力するための設定について説明します。単一データ出力を使用するためには、Datamap エディタで以下の設定を行います。

#### 図:単一項目設定

フォーム変数名	SHIRE_MONTH
クエリーフィールド番号	11
データタイプ	単一項目
非表示	
重複非表示	
集計	-
総集計	=
キーブレイク	-

単ーデータとして出力したいフィールドの「データタイプ」項目を「単一項目」に設定します。 以上で単一データ出力の設定は完了です。

### 補足事項

この単一データ出力の機能では、そのページの最初のデータを単一データとして出力すること ができます。

TENPO_MEI	SHIIRESAKI_MEI	SHI IRE_MONTH
フレンドストアー本店	埼玉食品㈱	03-10
フレンドストアー本店	埼玉食品(株)	03-10
フレンドストアー本店	埼玉食品㈱	03-10
フレンドストアー本店	(㈱岡田屋	03-10
フレンドストアー本店	(㈱岡田屋	03-10

データベースから上図のようなデータが取得されるとします。

サンプルでは、「SHIIRE\_MONTH」のデータを出力するフィールドが単一項目指定されているため、 全てのページで「03-10」というデータが出力されます。ここで例えば「SHIIRESAKI\_MEI」のデー タを出力するフィールドが単一項目指定されていて、4 行ごとにページが切り替わるような設 定がされている場合、次のような出力となります。

1 ページ目:「埼玉食品(株)」が出力される。 2 ページ目:「(株)岡田屋」が出力される。

この状況を図で示すと以下のようになります。

TEMPO_MEI	SHIIRESAKI_MEI	SHI IRE_MONTH
フレンドストアー本店	埼玉食品㈱	03-10
フレンドストアー本店	埼玉食品㈱	03-10
フレンドストアー本店	埼玉食品㈱	03-10
フレンドストアー本店	㈱岡田屋	03-10
् इत्यानगरम् व्याप्त क्या क्या व्याप्त व्याप्त क्या व्याप्त व्याप्त व्याप्त क्या क्या क्या क्या क्या क्या क्या	改ページ	1955 - 295 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 2 197 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297 - 297
フレンドストアー本店	㈱岡田屋	03-10

上記の通り、そのページの最初のデータがそれぞれ出力されることになります。

4-6-2. 総集計値の単一データ出力

集計機能を使用して総合計値などのデータを単一のデータとして出力する機能について説明し ます。集計機能についての詳細は「4-4. 集計」をご覧ください。

例えば、以下のような形で総集計値のみを単一データとして出力することが可能です。

図:単一データとして総集計値を出力

03-10	月度	<b>A</b>	Ħ	6, 7 <b>6</b> 0	, 795	
店コード	6	店	2		仕入先ニード	
10	フレンド	7 17		本店	120	自己的
					121	(36) B

この機能を使用するためには Datamap エディタで以下の設定を行います。 まず、集計に関する設定を行います。フィールドビューから集計対象となるフィールドの集計 項目をクリックして集計設定ダイアログを表示し、集計設定を行います。 ここでは、総集計の設定のみを行います。

<u>図:集計設定ダイアログ</u>

集計設定 - フォーム変数名: TOTAL	<b>X</b>
■ 集計値を出力する	✓ 総集計値を出力する 出力支字列指定(全変数共通)
集計種別	総計
●合計 ◎平均 ◎ レコート数	位置指定
	TENPO_MEI ▼ 参照
出力又子?咐眉足(宝浅)就共通) 位置指定	<ul> <li>データイワが単一時の出力条件</li> <li>● 全パージ</li> <li>● 先見パージ</li> <li>● 先見パージ</li> <li>● 集計行が次パージの時、前パージ12押し込む (全変数共通)</li> </ul>
データ編集	単位文字列指定
1234→1,234 ▼	5 <b></b>
A8-2	OK ++yth

[OK] ボタンをクリックして集計設定ダイアログを終了します。 次に、フィールドビューの[データタイプ]項目から[単一項目]を選択します。

図:単一出力設定

フォーム変数名	TOTAL
クエリーフィールド番号	7
データタイプ	単一項目
非表示	
重複非表示	V
集計	
総集計	0
キーブレイク	-

以上で総集計値の単一データ出力の設定は完了です。

### 4-7. 総ページ数

<< 注意 >>

この Datamap エディタによる総ページ数の出力機能は、Create!Form の旧バージョンをお使いの方のための移行用機能です。新たに総ページ数の出力を行う場合は、Form エディタからページ変数をご使用ください。

ページ変数を使用したページ番号の出力とは別に、以下のような総ページ数を出力することが できます。

図:総ページ数の出力

	1	/	3
10-01	00	: 0	00:00

A	前年差
32	-44750

この機能を使用するためには以下のような作業を行う必要があります。

1. 総ページ数出力用のテキスト変数を定義する。

2. Form エディタで作成したテキスト変数を総ページ数の出力用として設定する。

1. 総ページ数出力用のフィールドを定義します。Form エディタでテキスト変数を作成します。 ※ページ変数ではなくテキスト変数を作成してください。

図:テキスト変数の作成

フジェ小番号:	045	記述: 総个	ミージ数		
E数名: TO	TAL_PAGE				
属性 配置	編集   重ね:	合わせ 位置	表連携	<b>v</b>	小数点一桁
7721: PS F	utoGoB101-Bo	Id-RKSJ-H	• □ 太宇	サンフル文字:	
サイス*: 🔽	10.000	色:	選択	あぁアァ	• 亜宇
文字間隔:	0.000 +		色の条件	Ľ	
行間隔:	10.000 ÷	□ リスト形式:	ドー物の出力		
行間	鄒鬲算出	間隔:	0.000		

フォントなどを任意の設定し、Form ファイルを保存してから Form エディタを終了します。

2. Form エディタで作成したテキスト変数を総ページ数の出力用として設定します。Datamap エディタで以下の設定を行います。

ツールメニュー[ツール]-[変数の再読込]をクリックし、先ほど作成したテキスト変数を インポートします。

図:変数のインポート

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) (Y-	-ル(T) データベース(D) オプション(O) !	りイントック(W) ヘルフ°(H)
□ ☞ ■ ● 0	フォームビューア(V) リクエストビュー手動設定(E) リクエストビューのCSV出力(C)	□ *** 数削除 変数//-
	変数の再読込(F) 変数の削ぼ(D)	MAPE 71-1/h
select * from salary	変数のソート(S) SQL文の整形(P)	
	SQL入力支援(H) クエリーフィールド番号のシフト(Q)	

Datamap エディタのフィールドビューから総ページ数を出力するフィールドの「データタイプ」 を「総ページ数」に設定します。 <u>図:総ページ数の出力設定</u>

フォーム変数名	TOTAL_PAGE
クエリーフィールド番号	設定なし
7~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	総ヘージ数・
非表示	
重複非表示	
集計	-
総集計	-
キープレイク	

### 以上で総ページ数の出力設定は完了です。

### 5. 共通設定

5-1. 変数操作

ここでは、CSV 用、Text 用、XML 用の Datamap エディタで変数を追加、削除、マッピング解除 する方法を解説します。

DB 用 Datamap エディタに関しては、「4. DB データマップ」をご覧ください。

5-1-1. 変数インポート

Datamap ファイルを新規作成する場合には、作成時に Form ファイルを指定することで自動的 に定義された変数が取り込まれます。しかし、既に作成された Datamap ファイルに対して、 Form ファイルで新たに定義した変数を取り込むには、変数のインポート作業が必要です。

変数をインポートするには、Datamap エディタのメニュー[編集]-[変数のインポート]をク リックしてください。[ファイル選択]ダイアログが起動するので、取り込む変数が定義され たForm ファイル (.hst)を選択して [OK] ボタンをクリックしてください。

図:ファイル選択ダイアログ



選択された Form ファイルに定義され、かつ Datamap ファイルに定義されていない変数が存在 する場合には、[変数追加選択]ダイアログが起動します。

#### 図:変数追加選択ダイアログ

変数名	種別	*
ADDRESS	テキスト	
ADDRESS2	テキスト	-
ASSETS	グラフ	-
BALANCE	テキスト	
BARPOST	パーコード	
COMMENT	テキスト	
CUSTOMERNAME	テキスト	
DEPOSIT	テキスト	
DEPOSITNAME	テキスト	
DETAILS	かラフ	
EXCHANGE	テキスト	-

リストから取り込む変数を選択し、[OK] ボタンをクリックすると Datamap ファイルに変数が 追加されます。

5-1-2. リストアイテム削除

Datamap ファイルに定義された変数をリスト上から削除する方法を解説します。 変数をリスト上から削除するには、変数リストから削除する変数を選択し、メニュー[編集]-[リストアイテム削除]をクリックします。削除を確認するダイアログが起動しますので、 [はい]をクリックしてください。なお、変数リストで複数の変数を選択すると、選択したす べての変数を一括で削除することができます。

一度削除した変数でも、変数インポートすることで再びマッピングを定義することができます。

5-1-3. マッピング解除

変数に定義したマッピング情報を解除する方法を解説します。 マッピング情報を解除するには、変数リストから変数を選択し、メニュー[編集]-[マッピン グ解除]をクリックします。マッピング解除を確認するダイアログが起動しますので、[はい] をクリックしてください。なお、変数リストで複数の変数を選択すると、選択した全ての変数 を一括でマッピング解除することができます。

5-2. フォームビューア

定義された変数の数が多い場合には、変数リストから目的の変数を探すことが困難な場合があ ります。その様な場合には、フォームビューア機能を利用することで、Form ファイルのレイ アウトを確認しながらマッピング操作を行うことができます。 5-2-1. フォームビューアの起動

フォームビューアを起動するには Datamap エディタのメニュー [オプション]-[フォーム ビューア]をクリックします。(DB用 Datamap エディタの場合は、メニュー[ツール]-[フォー ムビューア]をクリックしてください。)

|--|

For and the second seco	OneToOneトータルファミリーサービス	FamilySB
<u>୬</u> ୧୯ ୧୯		758 神戸会社 ビージーコーコーコ ※参照りに始め 「日本のの」 「日本のの」
	単純、117年11日間の「大学校・外心化など」で開たたったようごだいな子。 年間、1月7日の日本語が見たった。これ時になったようごだいな子。 子説とした一番の子ーマスを自分でないたな子のの、上したした地でいたした。	\$7.
	トータルファミリーサービス 今月の総合しポート 第会な感染: DALANCE ====================================	VX 509 64 CB F 6+- 1
		-ays Denal
	17.11 新造門等 文田門等	an an
	<u> 48 0 ± 80 10 ± 20 11 ± 10 ± 10 ± 10 ± 10 ± 10 ± </u>	
		024 0249 H

フォームビューアには、[データマップ設定]で指定されたFormファイルに定義されたオブ ジェクトが描画されます。また、マッピング可能な変数は赤い枠で囲われます。

5-2-2. マッピング操作

フォームビューアで変数上をクリックすると、Datamap エディタの変数リストで該当する変数 が選択されます。その後は、通常通りマッピング操作を行ってください。

5-2-3. 変数インポート

Datamap ファイルに取り込まれていない変数が存在する場合、フォームビューア上の変数をダ ブルクリックすることでインポートできます。 5-3. 変数リスト

CSV 用、Text 用の Datamap エディタでは、変数の属性とマッピング情報を確認するための変数 リスト表示が可能です。

Datamap エディタの表示モードには[マッピング]と[変数リスト]があります。 マッピング情報をグラフィカルに表示するには[マッピング]モードを指定します。Datamap エディタ起動時は[マッピング]モードに設定されています。 また、変数リストを全画面に表示したい場合には[変数リスト]を指定します。 変数リストには各エディタごとに、パラメータバーに準じた情報が表示されます。

図: Datamap エディタ - 変数リスト表示

Datamapzi" +8 -	CIV - [ho	ken.dmp]		-								CHB -C
7744(E) 編集(E)	表示(LO)	17:10(0) 70	+19(M)	NA7*(H)	-	-						
		I & X &	同間	5.0	11	10 - 1	11 E 60	E 1				
末秋6(V)	HEND	#11(Z)	(101)	1815.0	00 111	R(P) 1	STERNON A	V28718080-0 384	153	重建表示(5)		
ADDRESS	9435	-	2	1014	1					AH +		
東京石	1831	業性	17	10051	行数	項目数	.457/半席	や宇宙力範囲	用計	重視表示		
ADDRESS	9823	8	2	4	3	1	22			教授		
ADDRESS2	942)	Æ	2	5	1	1	2.0			教学		
BARPOST	1-2-1		2	6	1	1	##					
CUSTOMERNA.	. 9425	老	2	2	1	8	#18			教習		
NUMPOST	<b>F82</b> F	左	2	3	1	1	10.00			教学		
UID	9825	石	2	1	1	1	==			80 B		
BALANCE	9429	4	2	1	1	1.	2.0			教示		
DETAILS	2197	181117	5	1	2	13	10.0					
SERVICES	27.37	1-5-5++1		1	2	5	<b>##</b>					
HOKENLOAN	7422		12	2	4	1	=#			表示		
HOKENNAME	9425	左	12	1	.4	1	10.00			教授		
LOAN	9429	右	17	2		1	##			表示		
LOANNAME	5420	8	17	1	4	1	#12			88		
PUBLIC	P#2)	石	22	1	5	1				観察		
COMMENT	9473	流し込み	28	1	1	1	##			調準		
ASSETS	0'57	FE17'37	30	1	2	5	<b>T</b> .(2					
DEPOSIT	9822	8	33	2	4	1	<b>##</b>			教示		
DEPOSITNAME	9425	友	33	1	4	1	##			表示		
GOLD	9429	石	37	1	2	1	=12			教育		
EXCHANGE	552)	4	39	1	2	1	78			表示		
Th CALECHIAND	8475	÷		*	*		**			**	現在位置 < 行:1 項目	· 

5-3-1. マッピング定義

[変数リスト]モードでマッピングを定義する場合には、該当する変数をリスト上で選択し、 パラメータバーで直接数値を入力してください。複数の変数を選択して一括で設定することも 可能です。

5-3-2. 変数リスト印刷

変数リストを印刷する場合は、メニュー [オプション]-[変数リスト印刷]をクリックしてく ださい。メニュー [オプション]-[変数リスト印刷プレビュー]で印刷結果を事前に確認する こともできます。なお、変数リストのタイトルをクリックして変数の並べ替えを行った際は、 変数リストに表示された順で印刷されます。

## **Create!Form** データマップエディタの操作 第5版

発行日 発行者 2015年2月

インフォテック・アーキテクツ株式会社 〒 160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25